

公害研資料

No. 60

# 横浜のホタル生息地

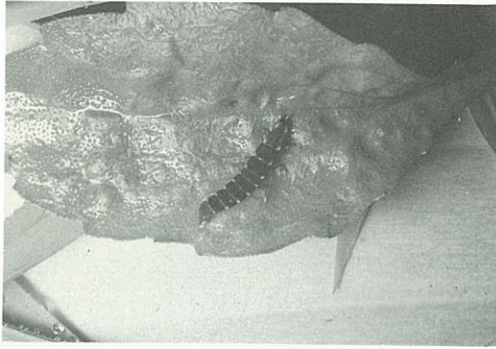
(1983年度版)



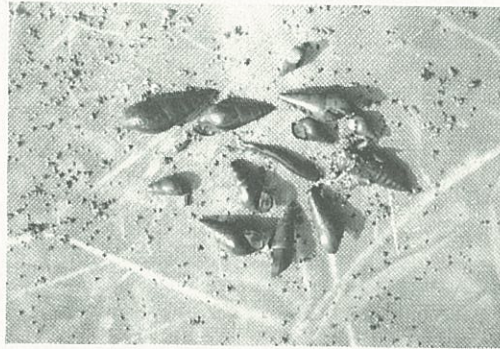
1984年3月

横浜市公害研究所





(ゲンジボタルの幼虫)



(カワニナ)

## 目 次

ホタル分布調査をまとめるにあたって

I 調査の概要	.....	1
II 生息分布図	.....	7
III 調査結果	.....	16

## ホタル分布調査をまとめるにあたって

横浜は、その7割が丘陵台地ということもあり、市内に源流をもち葉状に発達した中小河川に非常に恵まれています。その源流をたどれば、いまだに緑が色濃く残る谷戸を中心とした田園風景が広がり、そのなかに清らかな湧き水を集めた谷川、水辺を見つけることができます。その水辺には、ゲンジボタルやヘイケボタルをはじめ、ヤンマ、サワガニ、タイコウチ、ヨシノボリなど清流にしか棲まない小動物が生息しており、横浜の貴重な自然環境となっています。

しかし、それら貴重な水辺も、巨大都市という条件下で見れば比較的によく恵まれているとはいえませんが、一昔まえを想えば比べるまでもなく減っておりますし、いまなお都市化の進展などにより急速に減少しつつあります。その貴重な自然環境の保全は、民有地であるために非常に難しい問題を抱えておりますが、住みよい快適な都市環境づくりにかかせない課題です。さらに、保全するだけでなく積極的に創造を図ってゆく必要もあります。

このような考えから、当公害研究所においても開所以来、都市自然の保全・創造に資するために、関連部局等の御協力のもとに社会科学的、生態学的、水文学的調査研究を実施しております。そして、その都市自然の保全・創造に関する調査研究の大きな柱のひとつとして、快適な環境、身近な水辺のシンボルであるホタルをとりあげています。

過年度（57年度）においては、こども自然公園内のゲンジボタルについてその生態と環境等の調査を実施いたしましたが、今年度は引き続きその調査を行うとともに、ホタル愛好家の協力を得て、ゲンジボタルとヘイケボタルの発生地在全市的な分布調査を実施いたしました。また他方、公害対策局水質課においても、市内河川の源流域調査の一環として57年度より主要な源流域のホタル（生物）調査を実施しております。

この報告書、及びホタル分布図は、上記の調査を合わせまとめたものであります。

調査は、はじめてのことでもあり、各種地図、航空写真及び市民情報等により

ゲンジボタルないしヘイケボタルの生息の可能性が比較的に高いと推定される水辺を選び、対象地域としました。一応、市内の主な地域は対象範囲に入ったと思っておりますが、調査結果を見ると意外な場所にも生息しており、対象地域以外にもまだホタルの発生地のある可能性は多分にあります。なお、ゲンジボタルを優先したために、ゲンジボタルの生息を確認したところでは、ヘイケボタルの調査を省略したところもあります。

また、ホタル発生の最盛期が、概ねゲンジボタルでは、5月下旬から7月上旬のうちの1週間前後、ヘイケボタルは、6月下旬から8月下旬のうちの1週間前後であり、しかも地域によって異なること、また発光ピークの時間帯が日没30分後から約1時間と限られていること、それに対し調査人員の制約があつて最盛期の発光ピーク時間帯以外の調査を余儀なくされたことも多くあり、発生数等については十分満足しうる成果を得たものとはなっておりません。

しかし、横浜市におけるホタル生息地の分布状況は、この調査によって概ね把握できたのではと考えております。

数年前までは一般に、横浜ではホタルの自然発生地は絶滅したとも思われていました。しかし、調査をすすめると、残された谷戸を中心にびっくりするほどの発生地が見つかりました。これまでにゲンジボタルないしヘイケボタルの生息を確認したのは、合わせて48地区59地点に及びます。ゲンジボタルは15地区、ヘイケボタルは20地区、そして、重複し両方生息しているところが13地区もありました。

全国的に激減し、大都市では絶滅状態に近く、東京をはじめ数十から百近くに及ぶであろう自治体が、その復活をめざして人工の「ホタルの里」づくりに多大な労苦を払っているなかで、数ヶ所どころか数十地点のホタル生息地が発見されたことは、正直なところ調査者自身、驚きとよろこびで興奮いたしました。横浜の水辺と自然環境の質の高さは、他都市の羨望の的となっております。

ホタルは天然記念物ともなりうる貴重な生物であるというだけでなく、その飛び交う幽玄で神秘的な光は、誰をも魅了し人の心をとらえてやみません。そればかりではなく、ホタルはすぐれた水辺と緑が一体となったところにしか生息しえ

ないこともあって、そのホタルの生息地にはホタルばかりでなく、数多くの親しみやすい生物も共生しており、身近な自然として申し分のない環境となっています。それは、将来ますますニーズの高まってゆくと思われる身近な自然とふれあえる快適環境づくりのシンボルとして、これ以上にふさわしいものはないともいえる生物です。

ホタルの発生地をぜひとも保全してゆきたいと願うものですが、そのためには関係各位の多大な協力をなくしては望めません。当冊子は、まだ調査途中で十分なものとは言えませんが、横浜の快適環境づくりのうえでのホタルの意義を御理解いただき、また関連施策等の遂行にあたって本調査が多少なりとも生かされることを願い、まとめたものであります。よろしく御配慮のほどを願う次第です。

最後に、本調査に際して、横浜市ホタル生態研究会（代表 大場信義）及びその構成団体であるモルフォ生物同好会、戸塚ホタル研究会、神奈川自然保全研究会、サークル・エルの方々を中心に、舞岡の北見貞治氏、鶴見の笹部正治氏をはじめとする市民の方々、さらには緑区役所をはじめとする市職員の方々等、非常に多くの皆様方の御協力を得ましたことにつきまして、心より謝意を表する次第です。

1984年3月

横浜市公害研究所  
横浜市公害対策局水質課



# I 調査の概要





## 1. 調査の目的

都市自然の保全・創造ならびに源流域の保全に関する研究の一環として、横浜市域のゲンジボタルとヘイケボタルの生息状況を把握することを目的とする。

なお、1983年は、最初の調査ということもあり、ホタルが生息しているか否かの確認を主眼とした。

## 2. 調査者

### (1) 横浜市ホタル生態研究会（代表 大場信義）

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| ア. モルフォ生物同好会  | 大野通胤，高橋和也               |
| イ. 戸塚ホタル研究会   | 丸茂 高，鈴江周治，植村司郎          |
| ウ. 神奈川自然保全研究会 | 相内幹浩，渡辺政人，後藤好正，<br>永島 実 |
| エ. サークル・エル    | 大川和久，原山紀夫，金沢 豊          |

### (2) 緑区役所

中山 章，山泉稔生，渡辺悟一  
吉仲一也，武井陽子

### (3) 公害対策局水質課

### (4) 公害対策局公害研究所

- (5) そ の 他
- 笹部正治（獅子ヶ谷市民の森愛護会）
  - 北見貞治（農業）

### 3. 調 査 期 間

現地調査は、ゲンジボタルについては1983年6月、ヘイケボタルは7月、8月を中心に実施した。

### 4. 調 査 項 目

調査項目は次の通りである。

- ① 生息の有無
- ② ホタルの種別
- ③ 生息場所
- ④ 生息数（目視）
- ⑤ 生息環境の概要

今回は、①、②に重点を置いた。④は調査日が発生之最盛期でない場合もあり、参考値。

### 5. 調 査 方 法

調査は、まず、既存の資料による予備調査を行い、次いで現地調査を行った。なお、予備調査の結果、鶴見、神奈川、西、中、南、港南の6区については、ゲンジボタルの生息可能と思われる調査地がないため、ヘイケボタルに関する現地調査のみ行った。

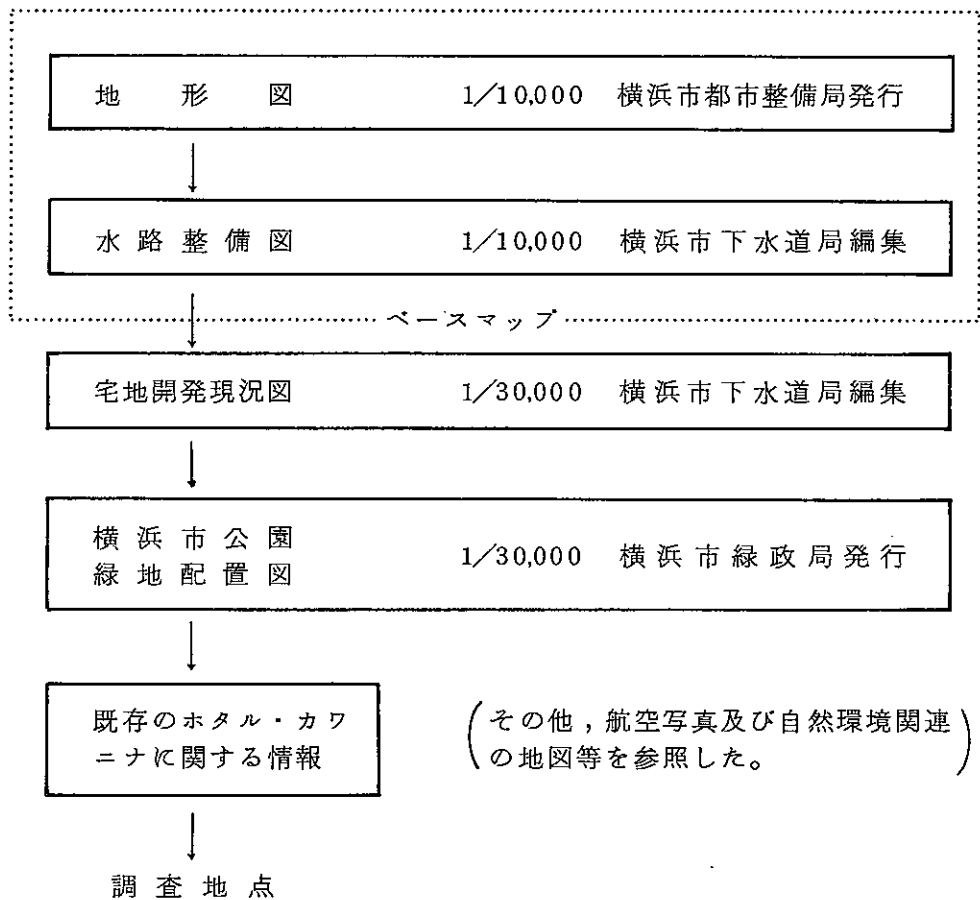
なお、生息の確認は、現地調査を原則としたが、信頼度の高い情報は採用した。

#### (1) 予 備 調 査

調査地域が横浜市全域を対象とする広範な地域に及ぶため、既存の資料により生息の可能性の高いと思われるところを選定し、現地調査の対象地点と

した。(調査位置図参照)

選定に当っては、横浜市都市計画局発行の1/1万の地形図に同下水道局編集の水路整備図を重ね合わせるによりベースマップを作成した。このベースマップよりホテルが生息可能と思われる谷戸や水田等の水辺を、地勢や開発状況等を勘案しながら抽出し調査対象地点とした。調査地選定のための予備調査作業のフローを以下に示す。



## (2) 現地調査

現地調査は前掲の調査項目に従い夜間のホテルの飛翔発光が盛んとなる時間(概ね日没より午後10時迄)を中心に調査地の水辺を巡回しながら目視

によって行った。

また、地元住民に対するヒアリングも同時に行った。

## 6. 調査結果

調査結果は、予備調査122地点、現地調査実施118地点に対し、ゲンジボタルとヘイケボタルを合わせた生息地数は48地区59地点であった。この内訳は下表の通りである。

	ゲンジボタル	ヘイケボタル	(うち <sup>※※</sup> 混棲)	合計
ホタルの種別 ※ 生息地区数	28	33	(13)	48
ホタルの種別 生息地点数	36	38	(15)	59

※ 地区とは生息地点を水系及び地勢等の観点より、とりまとめたものであり、市民の森や農業専用地区に代表される。

※ 「混棲」の数は、ゲンジボタルとヘイケボタルが同じ場所に混棲し、重複している地区、地点数である。

さらに、生息地点(59地点)の区・流域別の内訳は次の通りである。

区・流域別ホタル生息地点数

	鶴見川流域	帷子川流域	大岡川流域	宮川・侍従川流域	柏尾川流域	境川流域	その他	計
鶴見	1 (4)							1 (4)
神奈川	1 (8)	(1)						1 (9)
西		(1)	(1)					0 (2)
中			1 (9)					1 (9)
南			2 (6)					2 (6)
港南			(3)		1 (4)			1 (7)
保土ヶ谷		1 (2)						1 (2)
旭		8 (14)						8 (14)
磯子			3 (6)					3 (6)
金沢			2 (3)	2 (5)				4 (8)
港北	2 (6)							2 (6)
緑	16 (18)							16 (18)
戸塚					13 (17)	4 (4)		17 (21)
瀬谷					(1)	2 (5)		2 (6)
計	20 (36)	9 (18)	8 (28)	2 (5)	14 (22)	6 (9)	0 (0)	59 (118)

( ) 内は調査地点数

また、これらの調査結果は調査地毎に地点番号、調査日等を付し、調査項目に従い一覧表としてまとめると共に分布図として図示した。分布図にまとめたものは以下の通りである。

- ① 横浜市区別ホタル生息分布図 1/10,000
- ② 横浜市ホタル生息分布図 1/30,000
- ③ よこはまホタルマップ 1/50,000 (印刷予定, 水質課)

尚、本調査の詳細については、公害研究所社会科学部門および公害対策局水質課にお問い合わせ願いたい。

- ・ 横浜市公害研究所社会科学部門  
☎ 752-2605
- ・ 横浜市公害対策局水質課  
☎ 671-2488

## 7. そ の 他

なお、こども自然公園のゲンジボタルについては、1981年、1982年度の調査を継続し、1983年度は4月初旬より幼虫の上陸から成虫の発生終了までの連続調査を本分布調査と並行して実施した。

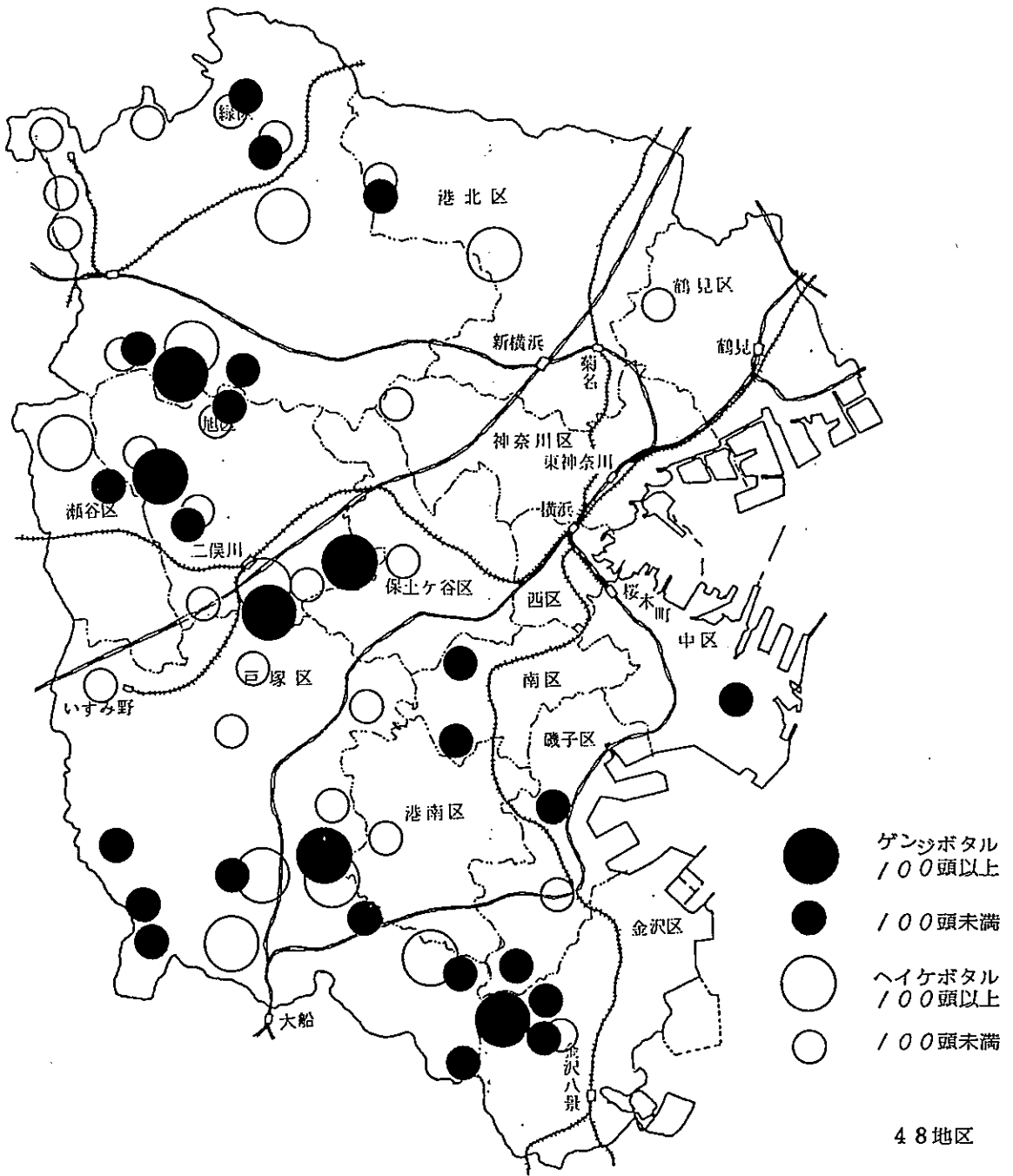
(この調査については、別途まとめる予定)

## II 生息分布図

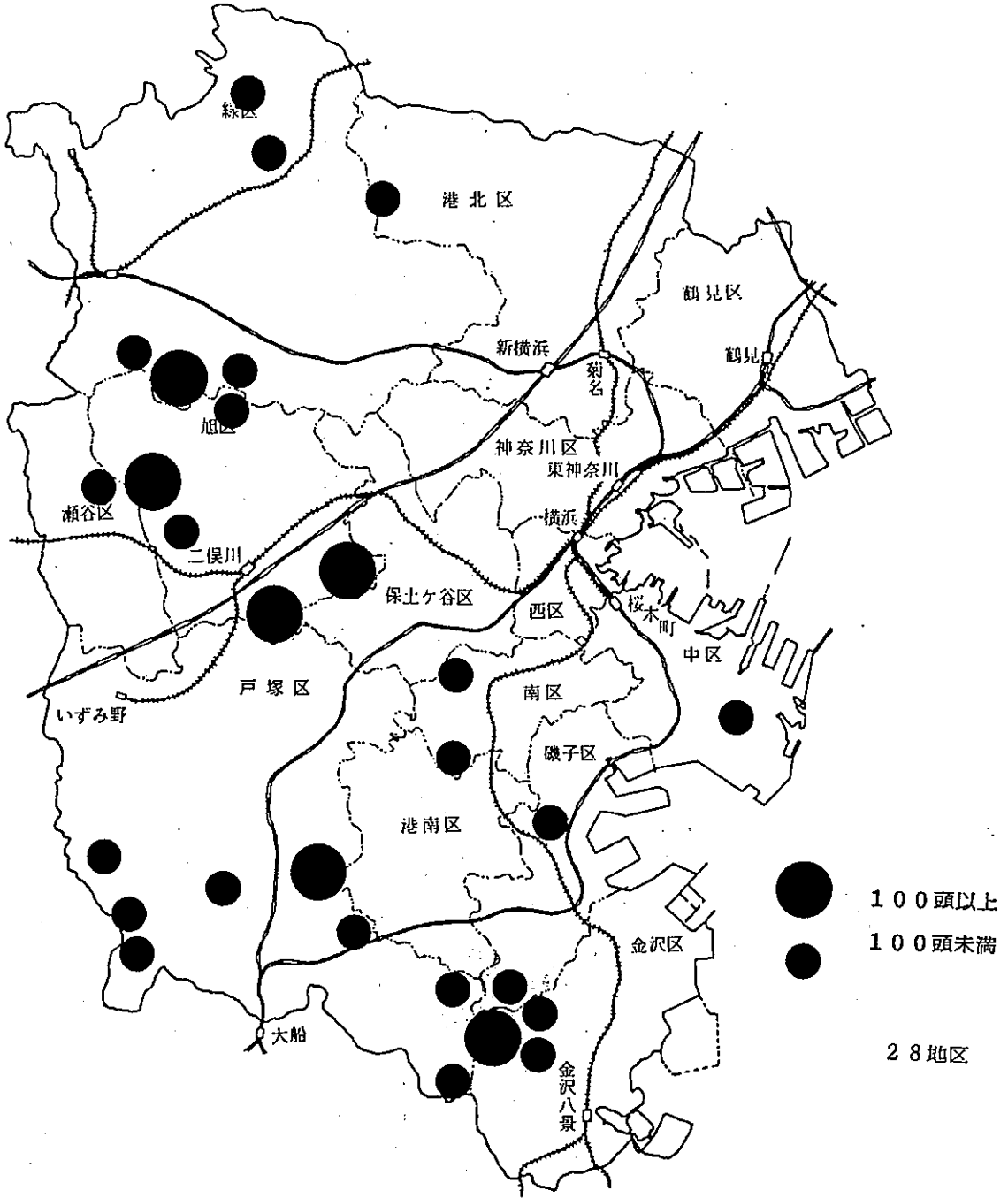




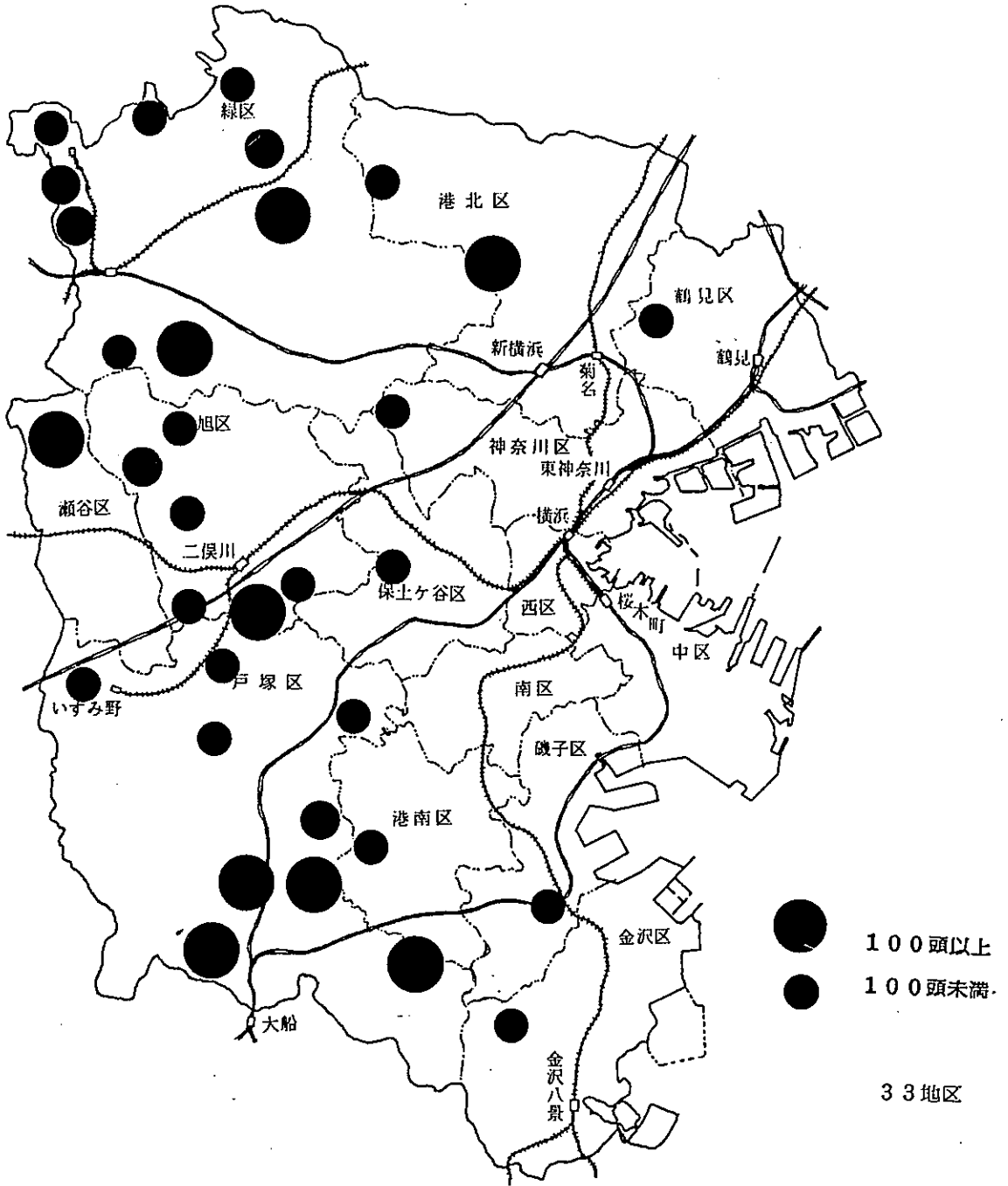
横浜市ホタル生息分布図 (1983)



ゲンジボタル分布図 (1983)

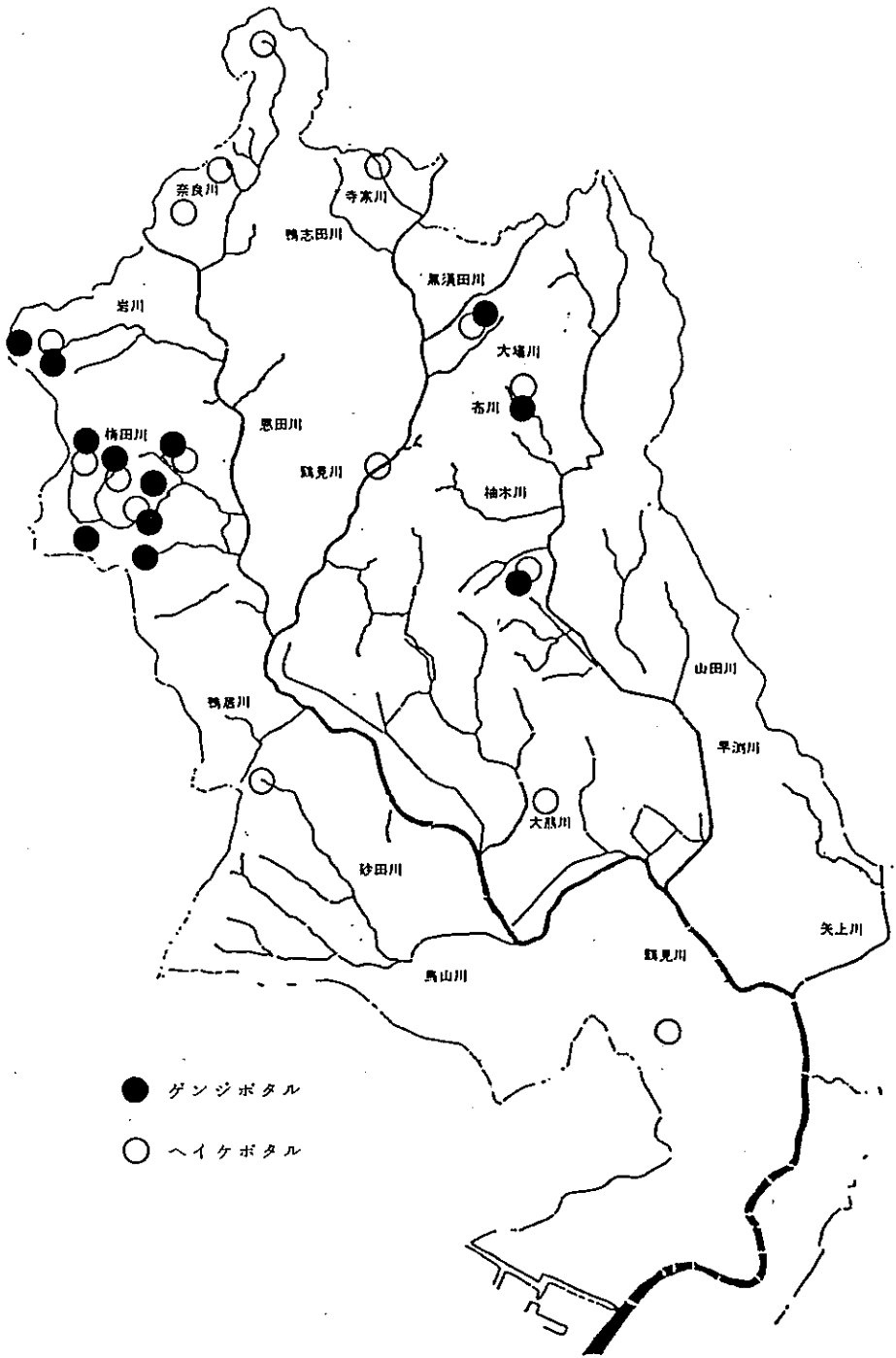


ヘイケボタル分布図 (1983)

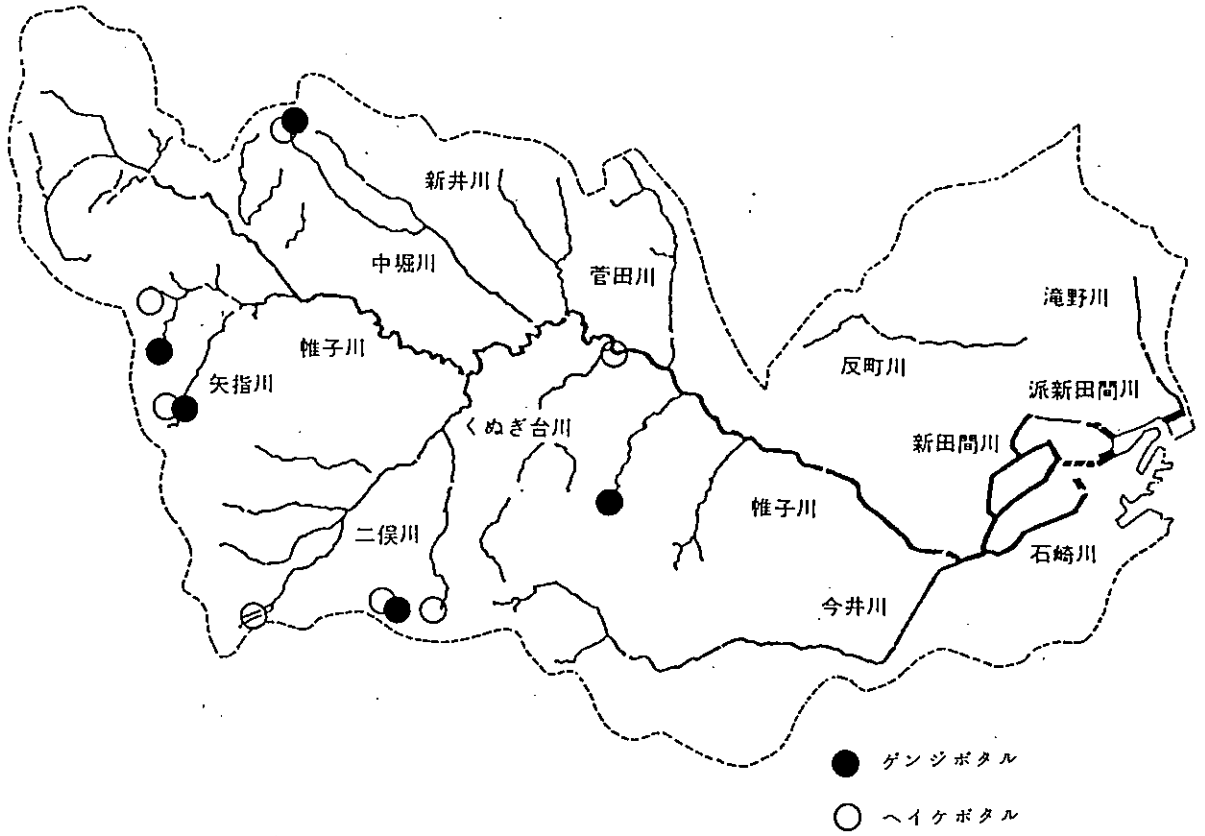


流域別ホタル分布図

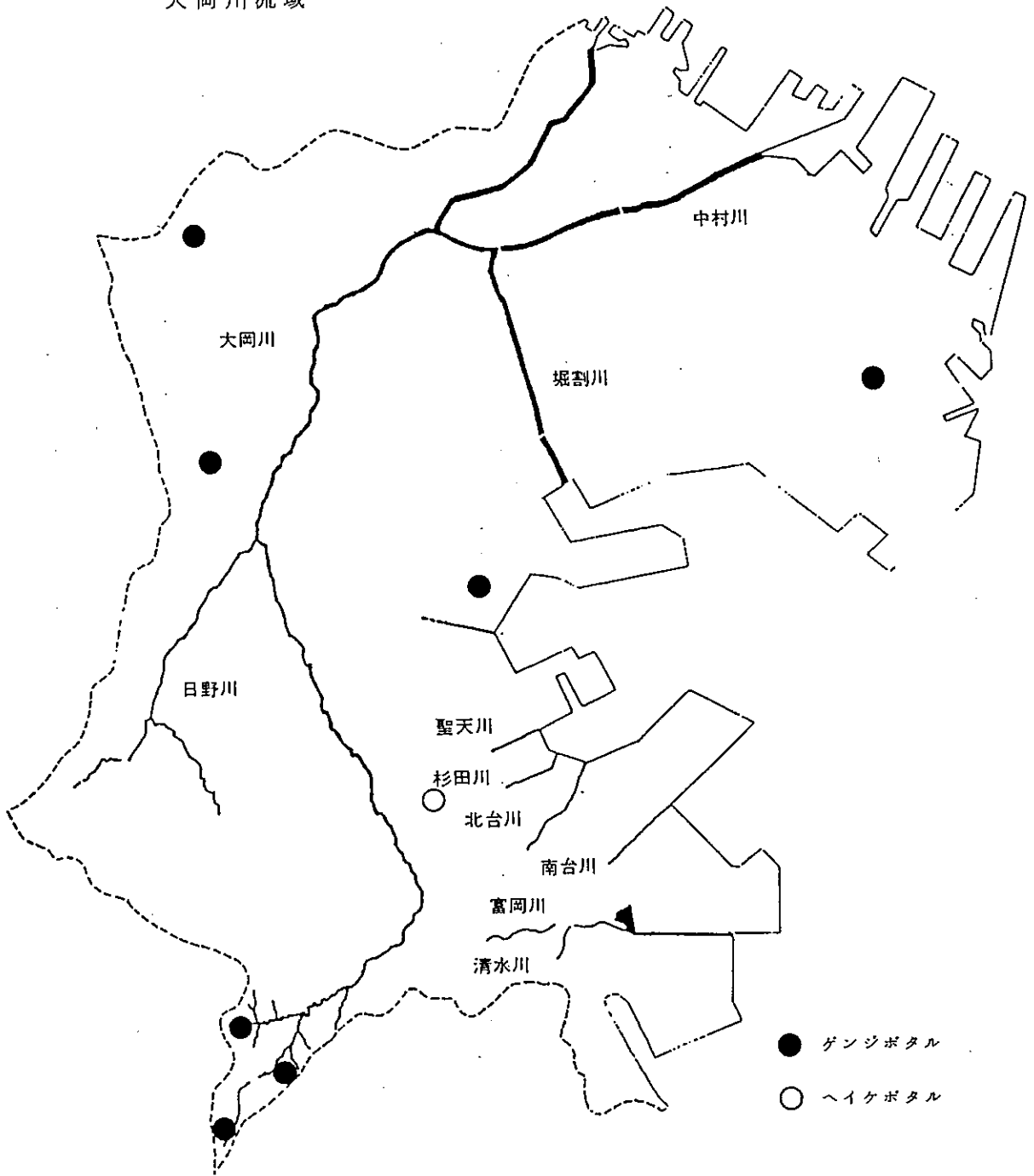
鶴見川流域



帷子川流域

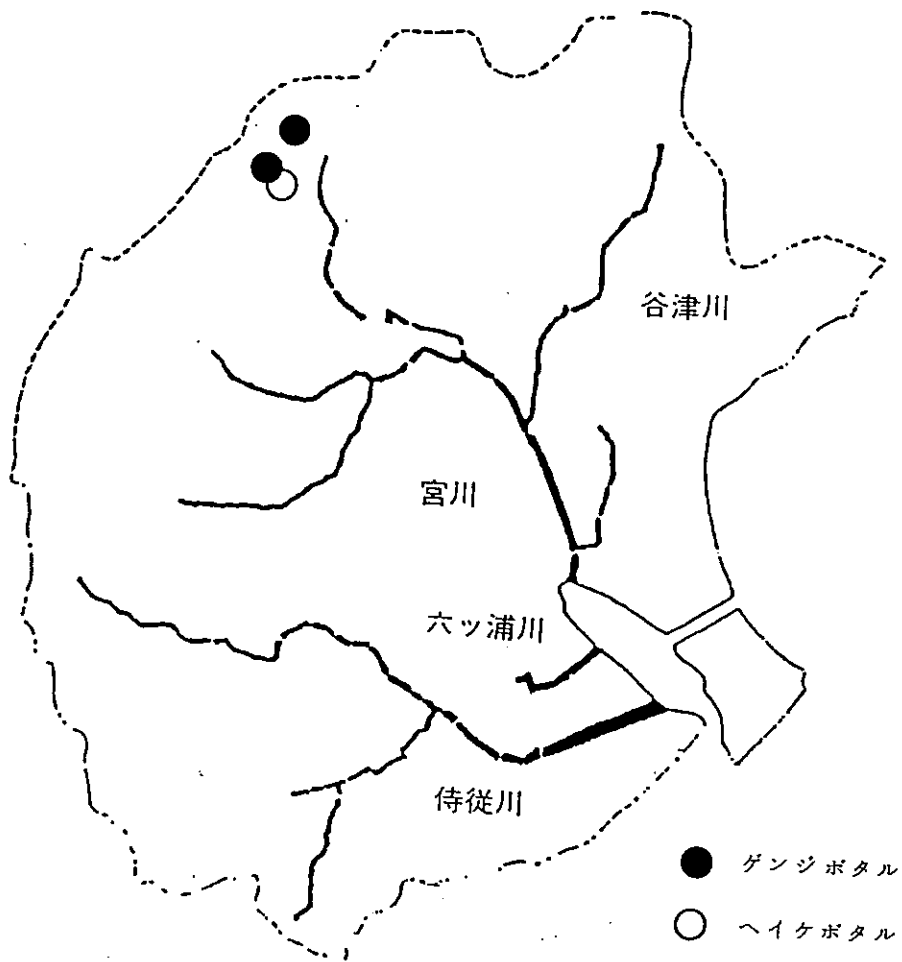


大岡川流域



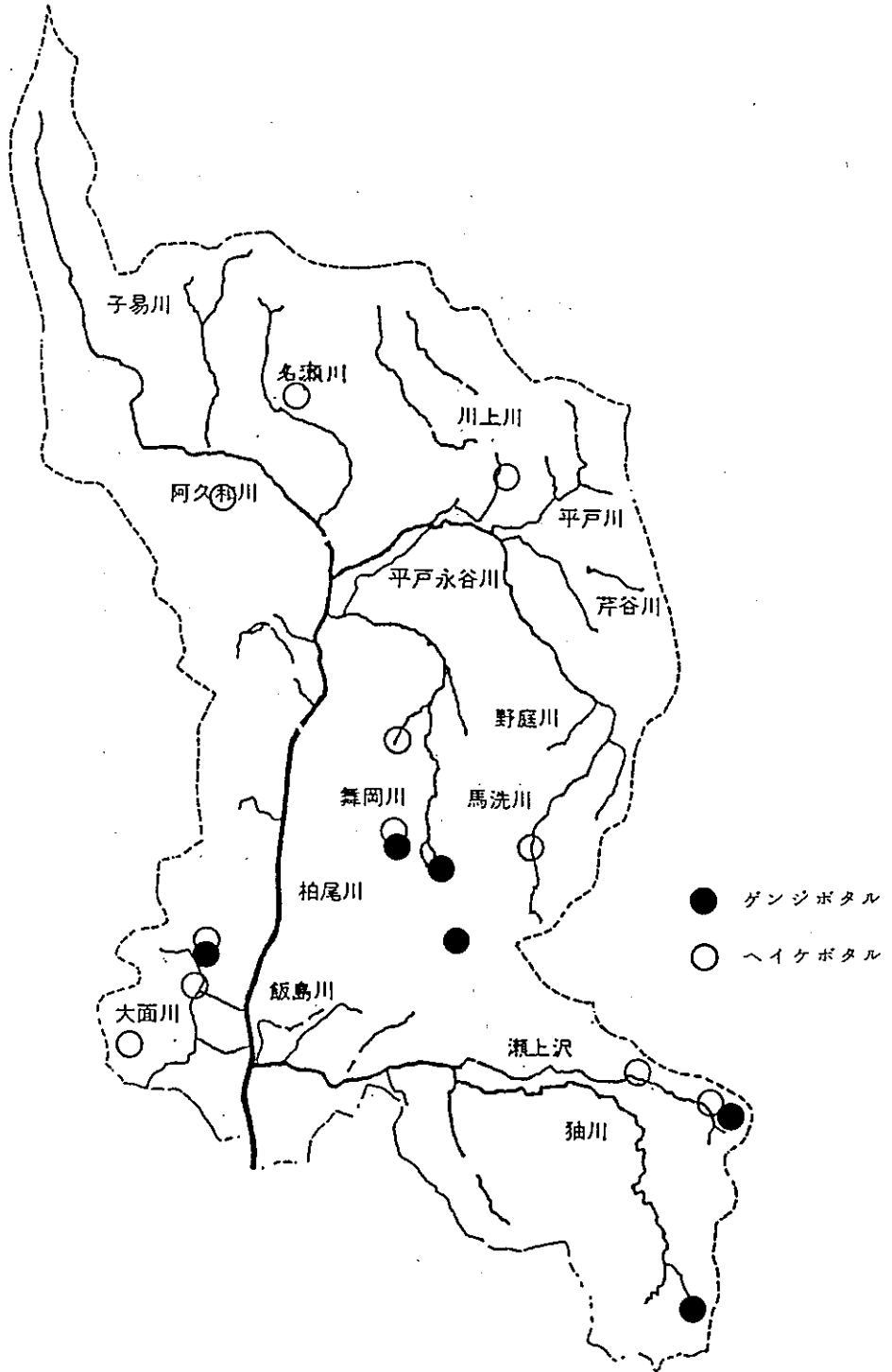
- ゲンジボタル
- ヘイケボタル

宮川，侍従川流域

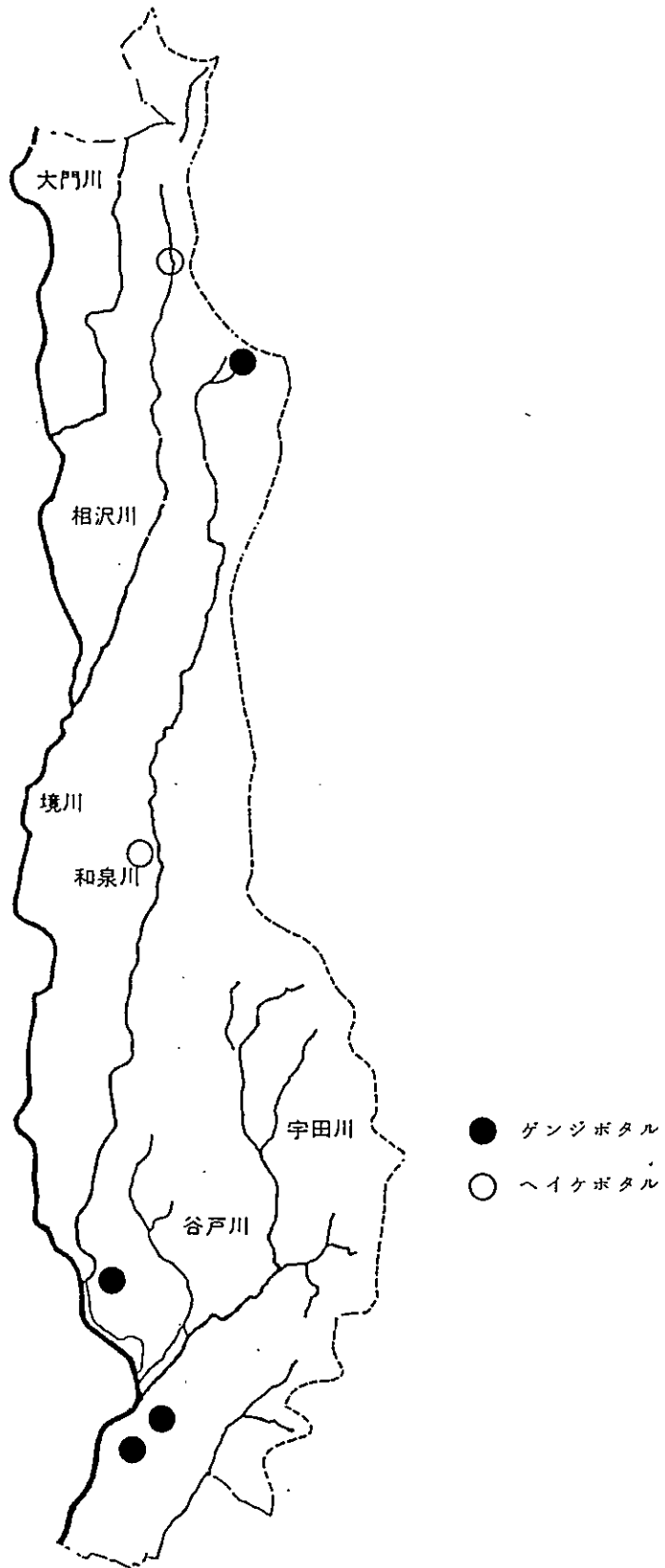




柏尾川流域



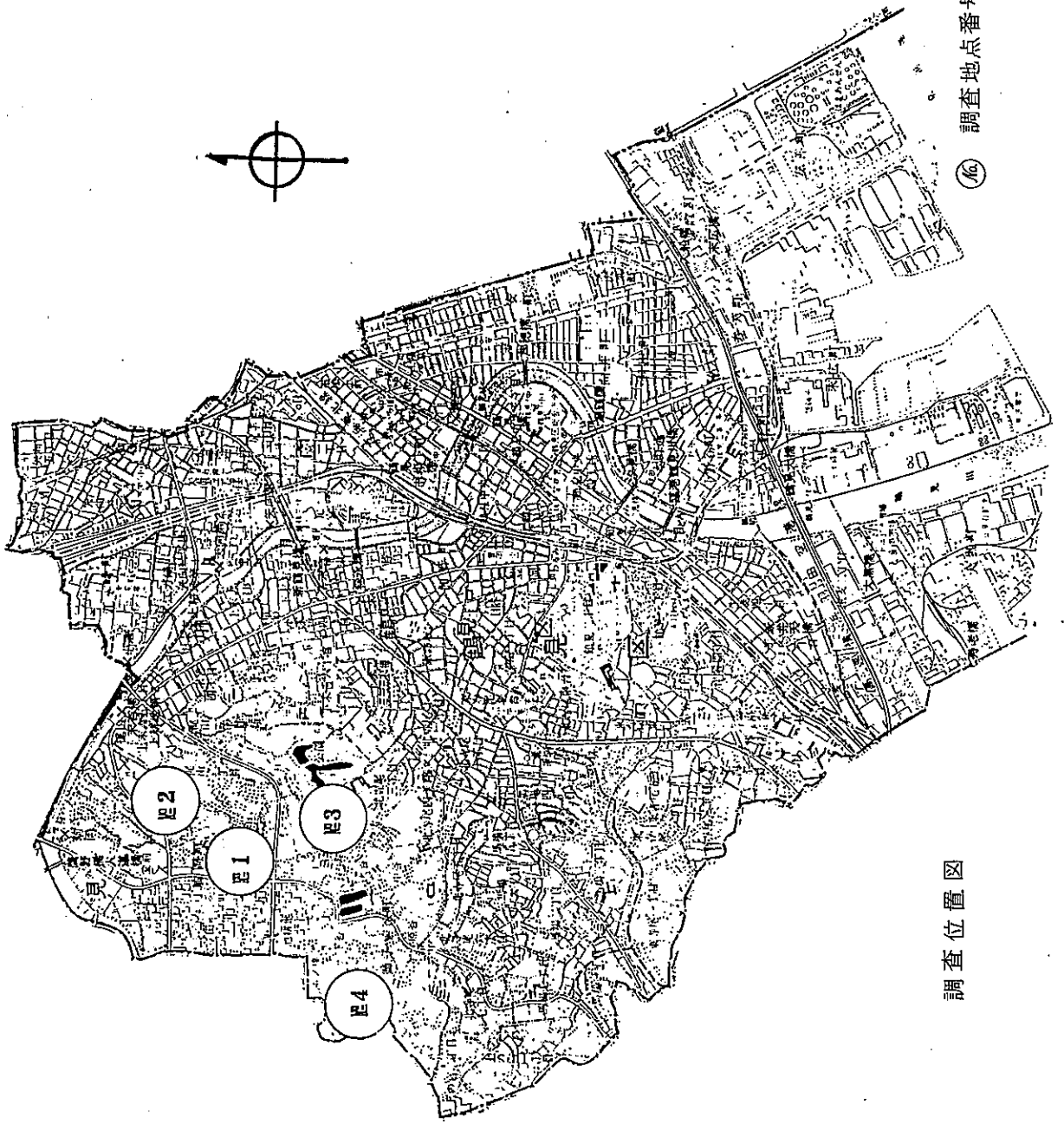
境川流域





# III 調查結果



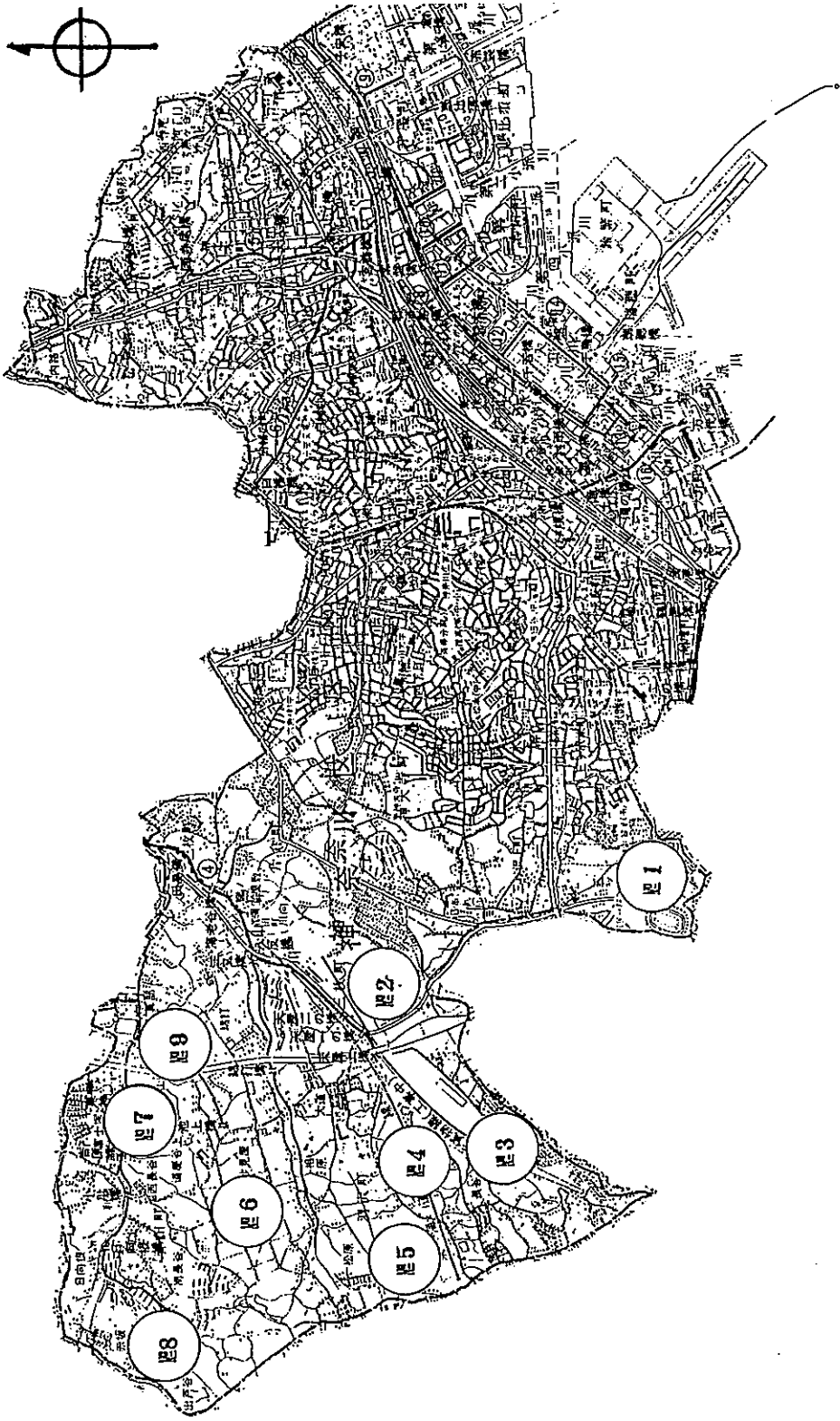


調査位置図

調査地点番号

鶴見区

調査地点番号	所 在 (目標物)	調査日		ダングボタル 生息数		調査日		ヘイケボタル 生息数		調査地の概要
		調査者名	調査者名	調査者名	調査者名	調査者名	調査者名			
鶴見-1	鶴見区駒岡町 (ポンプ揚裏)			83. 8. 26 公害研究所						工場地帯
鶴見-2	" 梶山二丁目 (正行寺付近)			83. 8. 26 公害研究所						小量の湧水は有るが、改修され管渠化されている。
鶴見-3	" 北寺尾町 (三ッ池付近)			83. 8. 26 公害研究所						三ッ池公園裏山，緑と歴史の散歩道付近 民家が谷戸の奥深く入り込んでおり，湧水点は不明。
鶴見-4	" 獅子ヶ谷			83. 8. 26 公害研究所				生息		カワニナ多数確認。ヒアリングにより生息確認。 獅子ヶ谷市民の森付近。



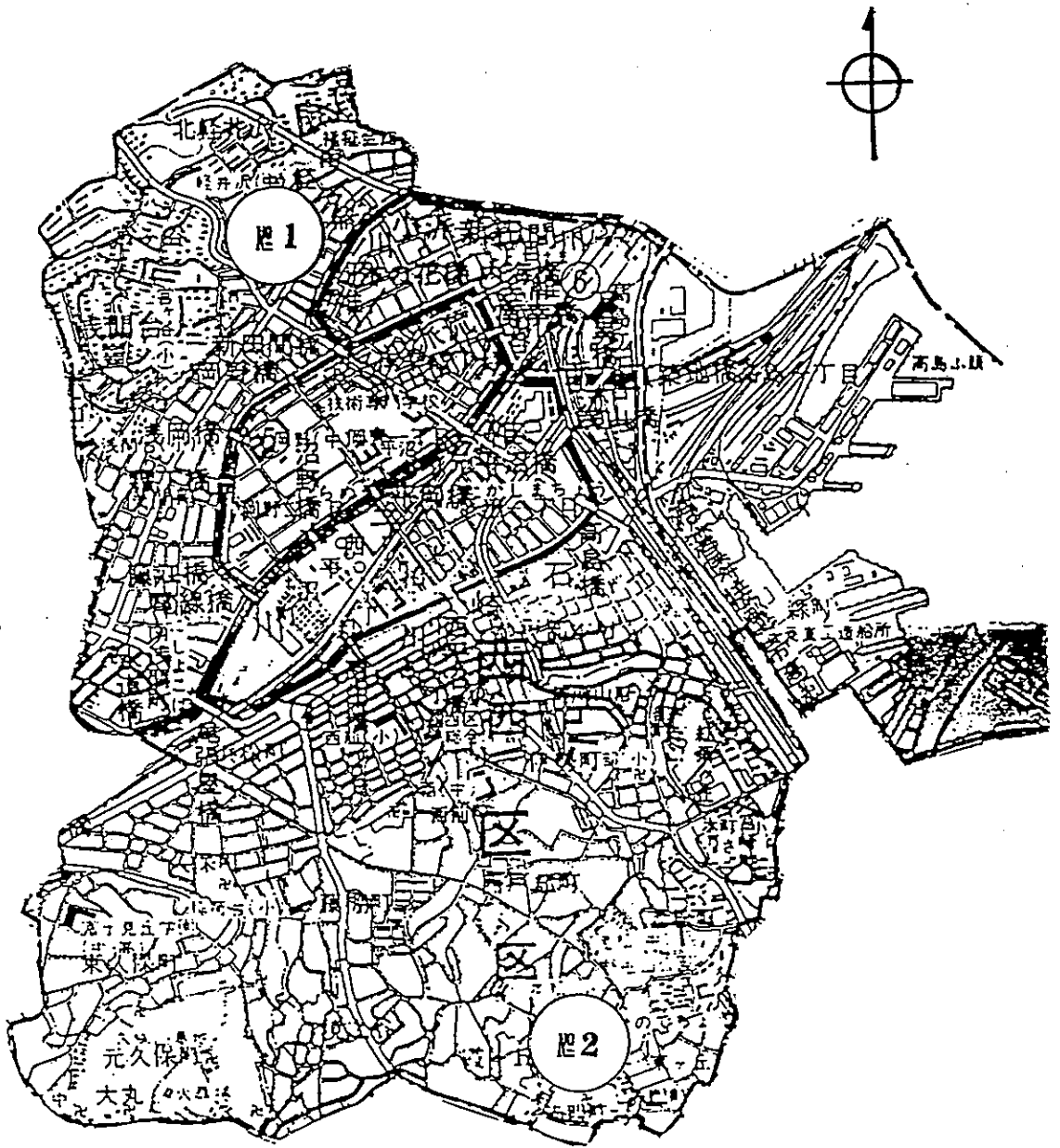
⑨ 調査地点番号

調査位置図



神奈川県 川 区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
神奈川-1	神奈川県三ツ沢(豊頭寺市民の森)				83. 8. 12 公害研究所			水路確認出来ず
神奈川-2	" 三枚町(日本ミソ裏山)				83. 8. 11 公害研究所			日本ミソ裏山水路無し
神奈川-3	" 羽沢町(烏山川長谷付近)				83. 8. 11 公害研究所			烏山川はところどころ改修されている。水はきたない。
神奈川-3-1	" " (ゴルフセンター付近)				83. 8. 11 公害研究所			水量は多いが鉄分多く生物は見当らない。 上部より下水が流入している。環状2号線予定地
神奈川-4	" " (原田工業付近)				83. 8. 11 公害研究所			未整備水路だがヘドロが多く生物は確認できない。
神奈川-4-1	" " ( " )				83. 8. 11 公害研究所			環境はよいが、水量が少く谷戸上部が産廃の処分地のため、雨が降って1カ月後に汚水が流れだすとの事。
神奈川-5	" " (羽沢幼稚園付近)				83. 8. 11 公害研究所			烏山川改修済み
神奈川-6	" 菅田町(池 谷)				83. 8. 11 公害研究所			改修済み
神奈川-7	" " (第3京浜高架下)				83. 8. 5 公害研究所			昔は水田だったが、今は畑になっていてる。
神奈川-8	" " (赤 坂)				83. 8. 5 公害研究所			水路改修中。水量多く水もきれい。
神奈川-8-1	" " ( " )			1 2	83. 7. 23 水 質 課			生活排水も流入する通路に面した水田。 住宅は数軒あるが、人通りは少ない。
神奈川-9	" " (真部, 烏山池下)				83. 8. 公害研究所			農家の話によると、水はきれいだが除草剤を使うため、昆虫などはいないとの事。



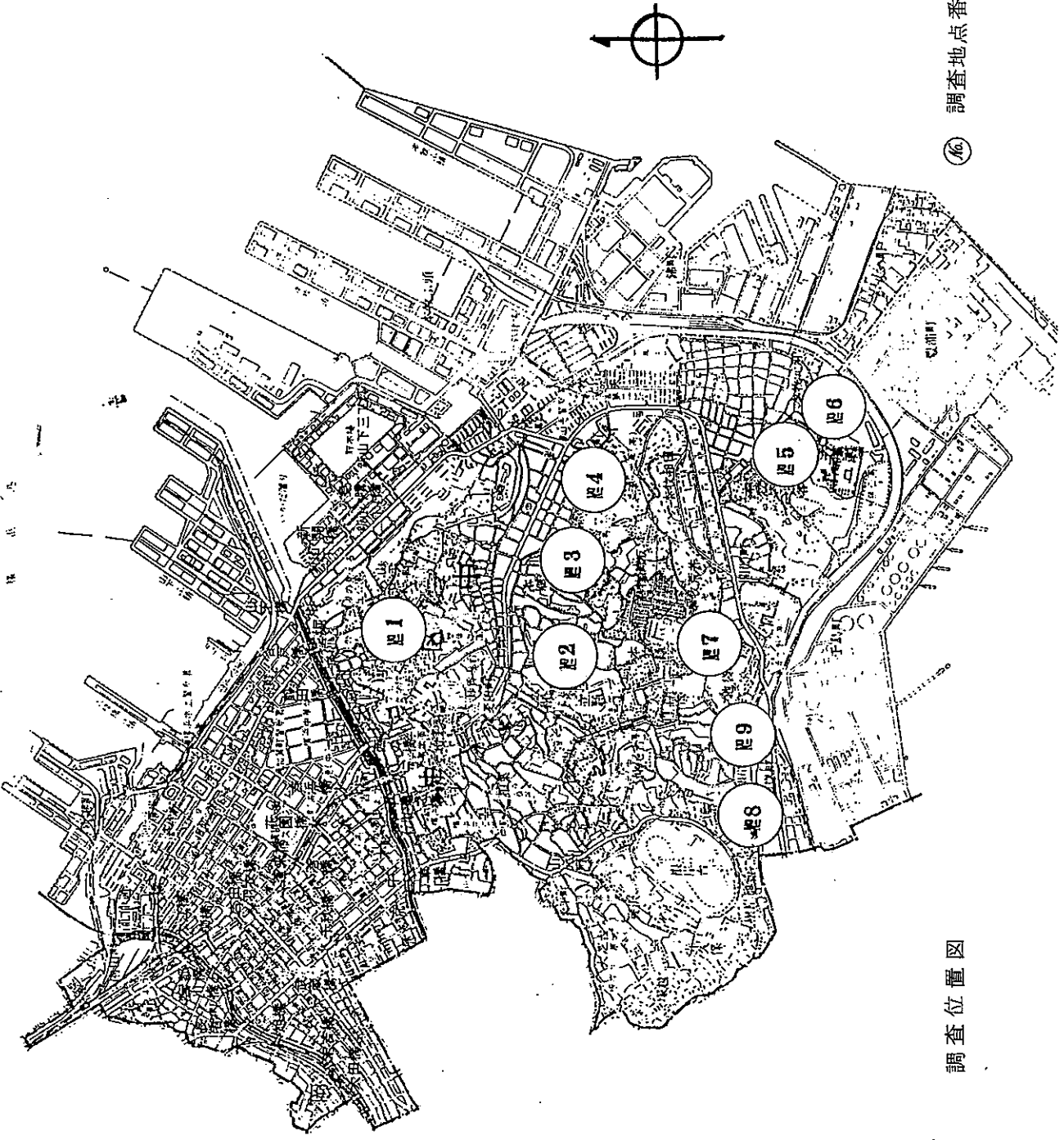
調査位置図

① 調査地点番号

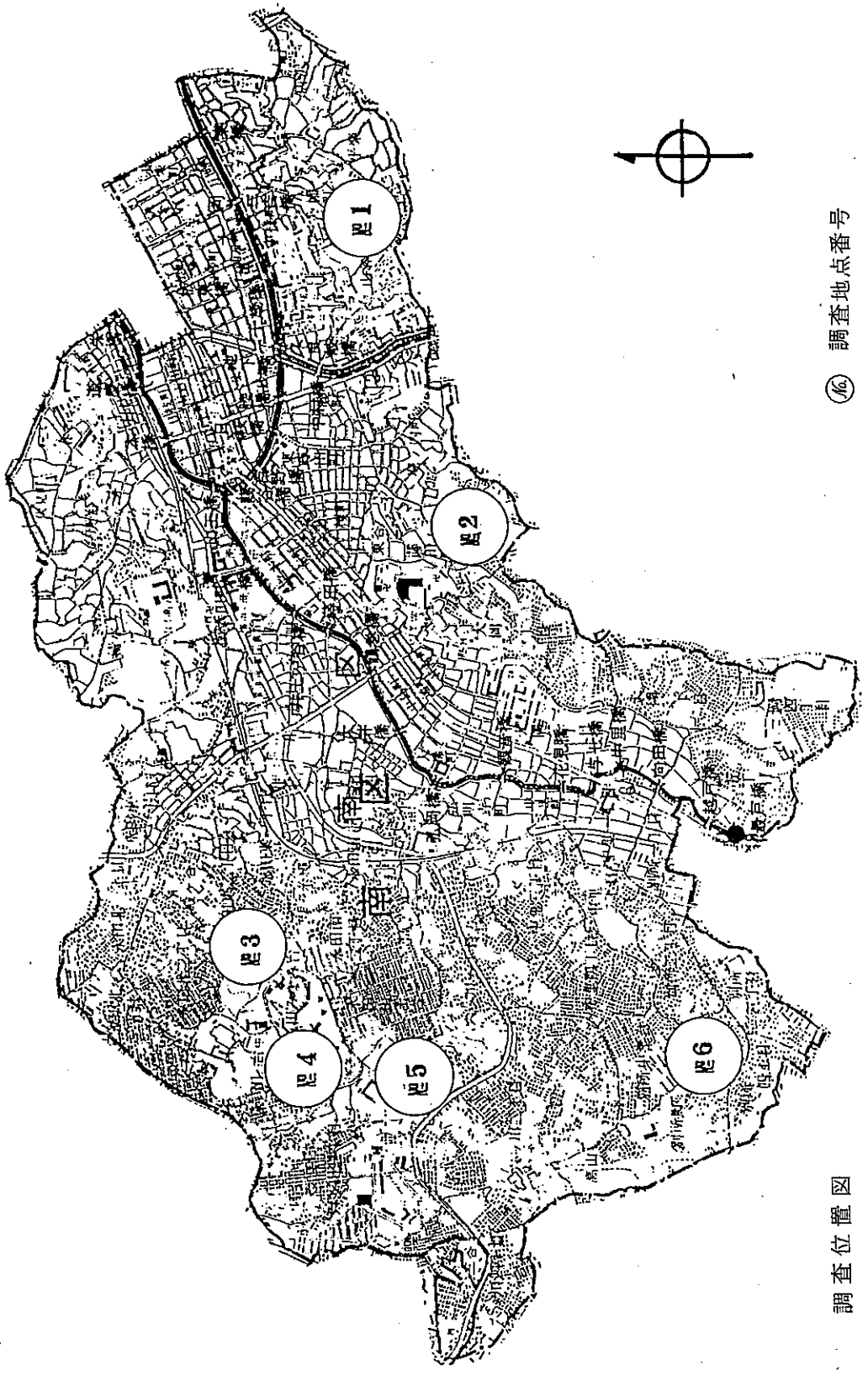


調査地点番号

調査位置図



調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
中 - 1	中区元町 ( 山手公園附近 )				83. 8. 4 公害研究所			湧水点不明
中 - 2	" 西之谷町 ( 善行寺付近 )				83. 8. 4 公害研究所			斜面より微量の湧水が流れているが、カワニナ等は確認せず
中 - 3	" 本郷町 ( 大鳥小学校付近 )				83. 8. 4 公害研究所			斜面縁地 ( 湧水なし )
中 - 4	" 本牧町 ( 元米軍宿舍裏 )			10	83. 8. 4 公害研究所			ヒアリングによりゲンジボタルの生息を確認した。湧水量は少ないが、50cm余りの水路にカワニナが多数生息
中 - 4 - 1	" " ( " )	83. 8. 4 公害研究所			83. 8. 4 公害研究所			民家の脇より少量の湧水有。水路は長い。
中 - 5	" 本牧大里町 ( 三ノ谷付近 )				83. 8. 4 公害研究所			環境の良い谷戸が残されているが、民家の裏のため確認できず
中 - 6	" 本牧元町 ( 三溪園裏 )				83. 8. 4 公害研究所			湧水がコンクリート改修済みの斜面より少量流れている。
中 - 7	" 池袋 ( テニスコート裏 )				83. 8. 4 公害研究所			谷戸の入口が民家のため調査不能
中 - 8	" 根岸町 ( 不動産の滝付近 )				83. 8. 4 公害研究所			不動産の滝上部は水量多く、カワニナ多数生息。しかし、草木が斜面 ( 岩盤 ) に無い。
中 - 9	" 根岸加台 ( 電話会館下 )				83. 8. 4 公害研究所			根岸緑のトンネル脇、根岸の丘に上る遊歩道沿いに湧水の流れがあり、カワニナが生息している。

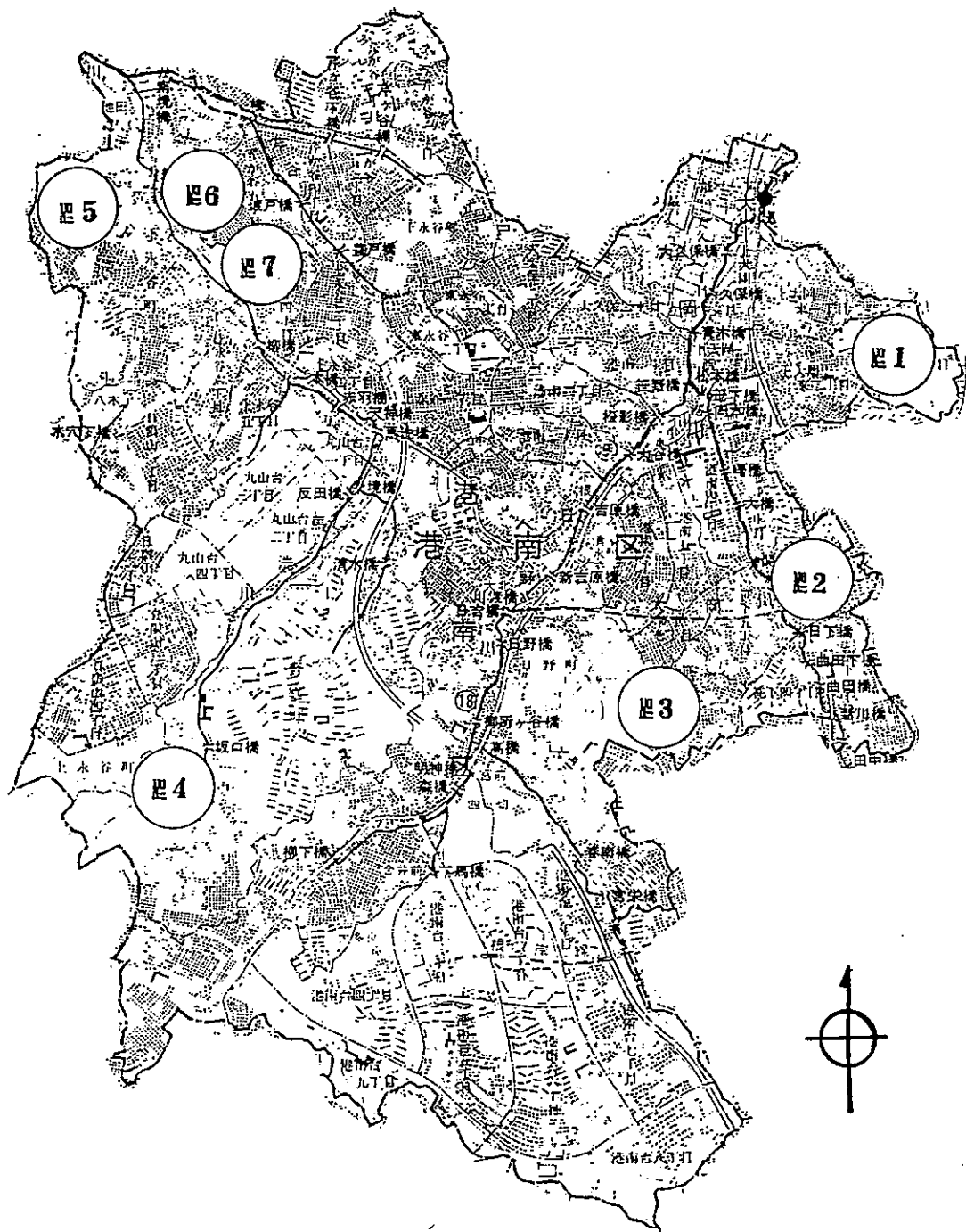


調査地点番号

調査位置図

南 区

調査地点番号	所 在 (目標物)	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日 調 査 者 名	ヘイケボタル 生 息 数		調 査 地 の 概 要
		調 査 日	調 査 者 名			調 査 日	調 査 者 名	
南 一 1	南区平楽町 (平楽中学付近)				83. 8. 4 公害研究所			斜面緑地(一部整地中)
南 一 2	" 蒔田 (蒔田小学校付近)				83. 7. 19 公害研究所			湧水点不明
南 一 3	" 永田北二丁目(永田中学校下)			3	83. 7. 19 公害研究所			ヒアリングによりゲンジボタル3匹の生息を確認した。民家の裏の谷戸より、湧水が流れカワニナ多数確認。
南 一 4	" 永田台 (東横重機付近)				83. 7. 19 公害研究所			社有地のため調査不能、ヒアリングしたが湧水は臭いとの話。
南 一 5	" 六ッ川一丁目(六ッ川小学校付近)				83. 7. 19 公害研究所			畑地。農家にヒアリングしたところ水は臭いとの事。
南一6-1	" 別所町 ( )			3	83. 7. 19 公害研究所			ヒアリングによりゲンジボタルの生息を確認した。流路上部にホラ穴が有り、湧水が流れ出ている。
南一6-2	" 別所町 ( )				83. 7. 19 公害研究所			水量多く、カワニナも多数生息している。



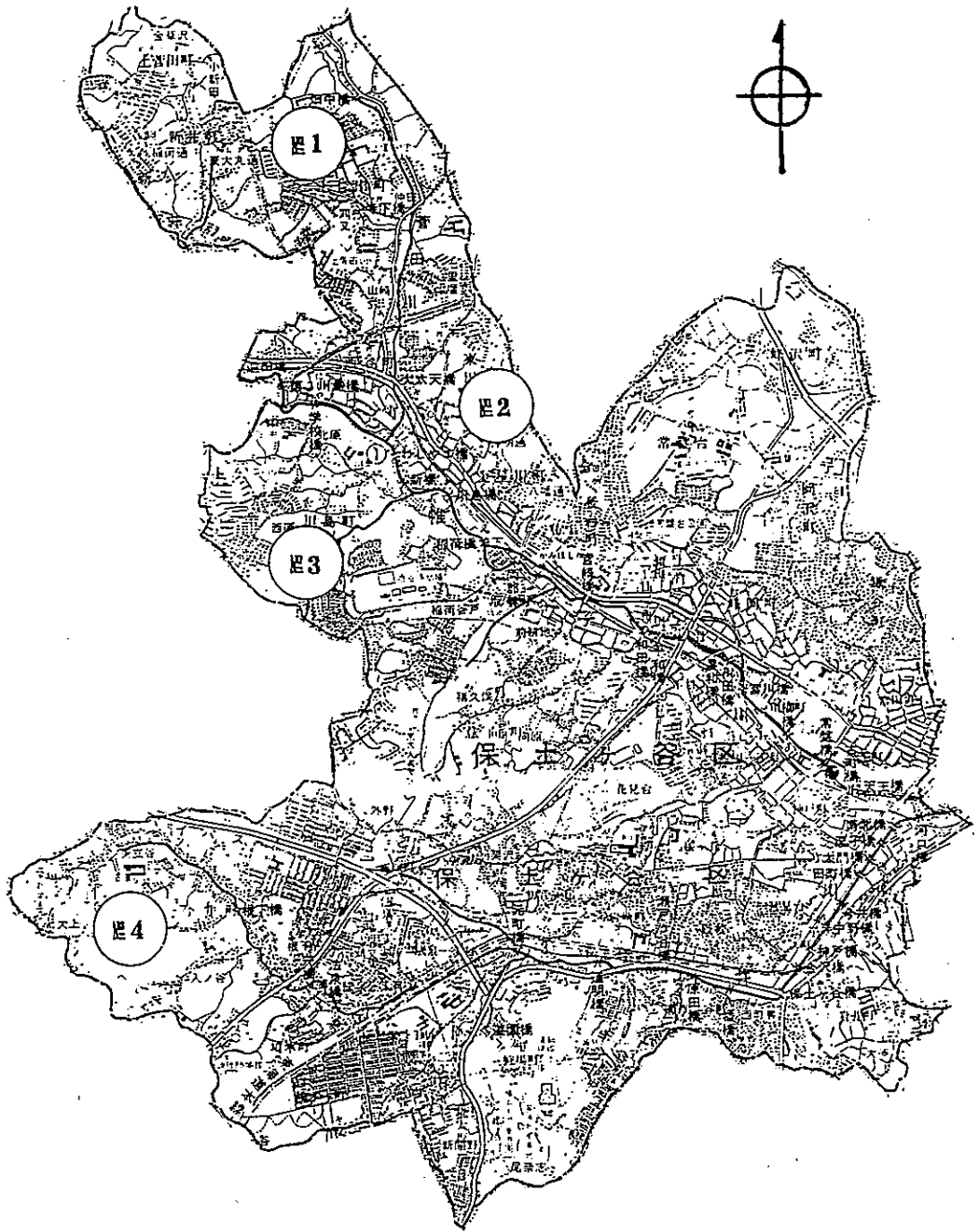
調査位置図

Ⓐ 調査地点番号



港 南 区

調査地点番号	所 在 (目 標 物)	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 者 名		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 日	調 査 者 名		調 査 日	調 査 者 名		
港南 - 1	港南区上大岡東三丁目 (久良岐公園)	83. 8. 10	公害研究所					流路にカワニナは生息しているが、鉄分が多い。公園最上 部の谷戸より湧水が有るが、現在湧水点付近を造成中。
港南 - 2	" 笹下2丁目	83. 8. 3	公害研究所					河川改修済み，U字溝になっている。
港南 - 3	" 笹下6丁目 (釣堀上部)	83. 8. 10	公害研究所					カワニナ等生物も豊富。子供が立ち入っている。 谷戸の奥，釣堀上部より多量の湧水有。湿地化している。
港南 - 4 - 1	" 野庭町 (日限山界付近)	83. 9. 7	公害研究所			10		ヒアリングによりヘイケボタル10頭の生息を確認した。
港南 - 4 - 2	" 上永谷町 (野庭農専地区)	83. 9. 7	公害研究所					主な水路は改修されている。
港南 - 4 - 3	" 野庭町 ( " )	83. 9. 7	公害研究所			1		ヒアリングによりヘイケボタルの生息を確認した。 水路が改修されている水田
港南 - 5	" 下永谷町 (下永谷市民の森)	83. 9. 7	公害研究所					下永谷市民の森 湧水点不明
港南 - 6	" " (県道杉田戸塚線脇)	83. 9. 7	公害研究所					大規模宅造中
港南 - 7	" " (上永谷中学付近)	83. 9. 7	公害研究所					造 成 地

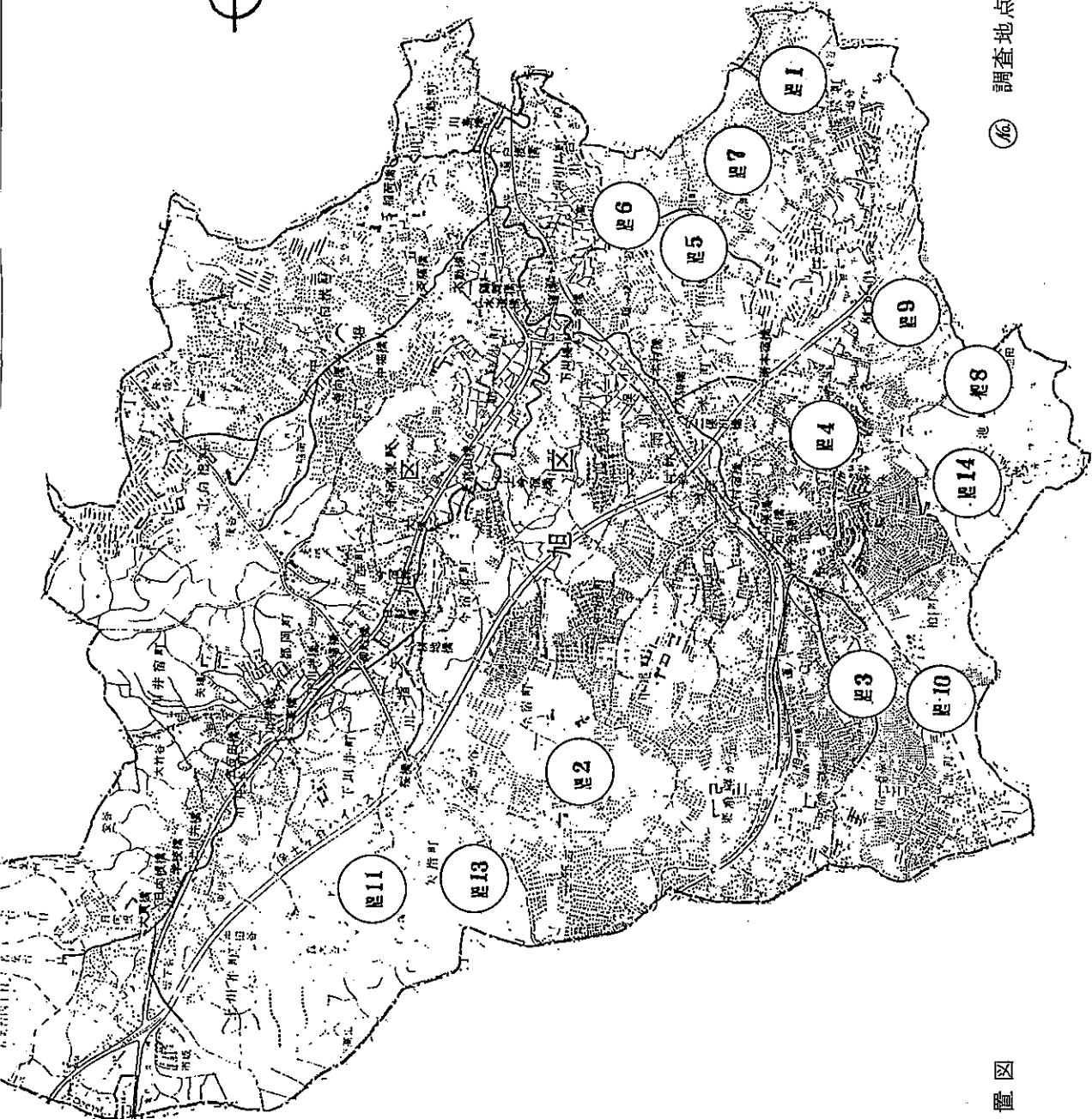


調査位置図

① 調査地点番号

保土ケ谷区

調査地点番号	所在 (目標物)	調査日 調査者名	ゲンジボタル 生息数	調査日 調査者名	ヘイケボタル 生息数	調査地の概要
保土ケ谷 1	保土ケ谷区上菅田町(笹山小学校付近)					欠損
保土ケ谷 2	" 上星川町(上星川小学校付近)					欠損
保土ケ谷 3	" 川島町 ( 杉山神社奥)	83. 6. 4 サークル・エル		83. 8. 12 サークル・エル		
保土ケ谷 3-1	" " (西谷中学付近)			83. 7. 28 サークル・エル	4	かなり明るい場所
保土ケ谷 3-2	" " (稲荷神社付近)			83. 7. 28 サークル・エル	6	サクで生息地に入れない。 ヒヤリングしたが、この付近ではボタルは見えないこと が無いとの事。
保土ケ谷 3-4	" 今井町	83. 6. 8 水質課				
保土ケ谷 4-1	" "	83. 6. 8 水質課				
保土ケ谷 4-2	" "	83. 6. 8 水質課		83. 7. 27 サークル・エル		ヒヤリングしたところ4~5年前迄では居たが今は 見られない。
保土ケ谷 4-3	" " (美立橋付近)			83. 7. 27 サークル・エル		ユスリカしかない。



⑭ 調査地点番号

調査位置図

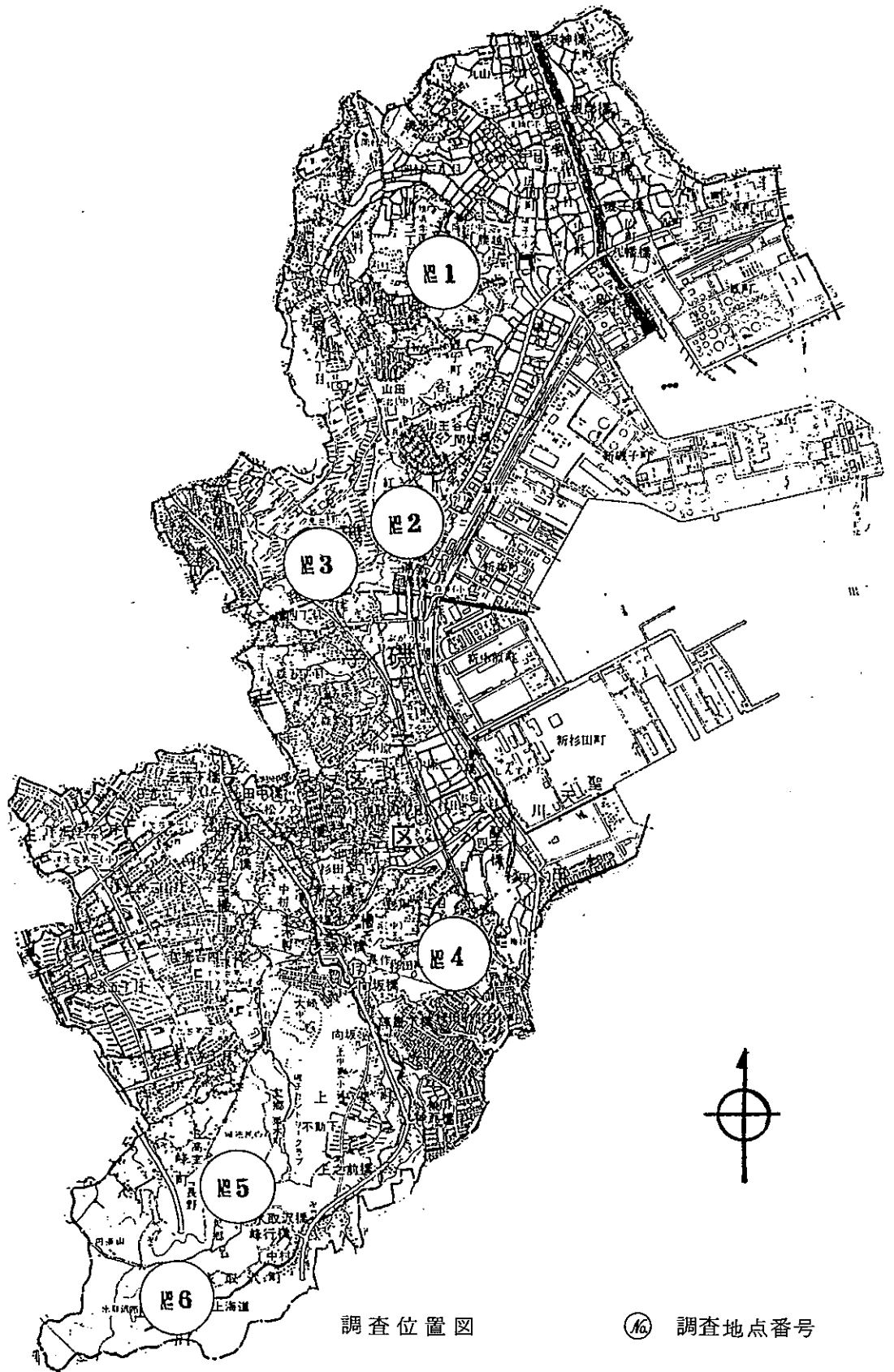
旭 区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
旭 一 1	旭区市沢町 ( 保土ヶ谷高校 )	83. 6. 5 サークル・エル		1 6 7				川幅 60~100 cm カワニナ多数生息している。 奇形(羽根がちぢれる)を確認。
旭 一 2	旭区今宿町 ( 旭 中 学 付 近 )	83. 6. 3 サークル・エル	83. 8. 19 サークル・エル	4			1 3	流路の幅30~40 cm 深さ2~5 cm シダが群生。 ホタルの体長は13~14 mm クロマトボタル幼虫発見
旭 一 3	旭区善部町 ( 南希望ヶ丘付近 )	83. 6. サークル・エル						生活廃水流入
旭 一 4	旭区南本宿町	83. 6. サークル・エル						生活廃水流入の上、最近改修された。
旭 一 5	旭区三反田町	83. 6. サークル・エル						造成中で水質は悪く、カワニナもない。
旭 一 6	旭区川島町	83. 6. サークル・エル						改修済み
旭 一 7	旭区市沢町 ( 市沢小学校付近 )		83. 8. 19 サークル・エル					生活廃水流入
旭 一 8	旭区大池町 ( 国際カントリー )		83. 7. 28 サークル・エル				2 2	水田の南側に多く生息している。下流部はコジクリ。近 所の人の話によると、このホタルは大池の比へ発生が遅い
旭 一 9	旭区桐が作 ( 保土ヶ谷バイパス付近 )		83. 8. 23 サークル・エル					川は改修はされていないが、下水が流入して悪臭 を放つ。
旭 一 1 0	旭区善部町 ( 善部団地付近 )		83. 8. 26 サークル・エル				1	雑木林の下のススキの葉上で確認。水源発見出来 ず。
旭 一 1 1	旭区矢指町 ( 通称・ホタル街道 )		83. 7. 水 質 課				7	通称、ホタル街道と呼ばれている道沿いの水田
旭 一 1 2	旭区上白根町 ( ひかりが丘付近 )	83. 6. 20 神奈川自然 保全研究会	83. 8. 13 神奈川自然 保全研究会	8			4 3	
旭 一 1 3	旭区矢指町	83. 6. 7 サークル・エル		1 0 1				

旭 区

調査地点番号	所在地 (目標物)	調査日		調査者名		調査者名		ヘイクボタル 生息数	調査地の概要
		調査日	調査者名	調査日	調査者名				
* 14	旭区大池町 (子供自然公園)	83. 6. 14	神奈川自然 保全研究会	83. 7.	サージェント・エル	139	200	ゲンジボタルは自然観察林。ヘイクボタルは各谷戸に分布。 人の出入りが多く明減が少ない。個体数はもつともいもよう	

\* ゲンジボタルの生態，生息環境については別途調査を行っている。（「こども自然公園環境調査報告書」1982. 3. 公管研究所発行）



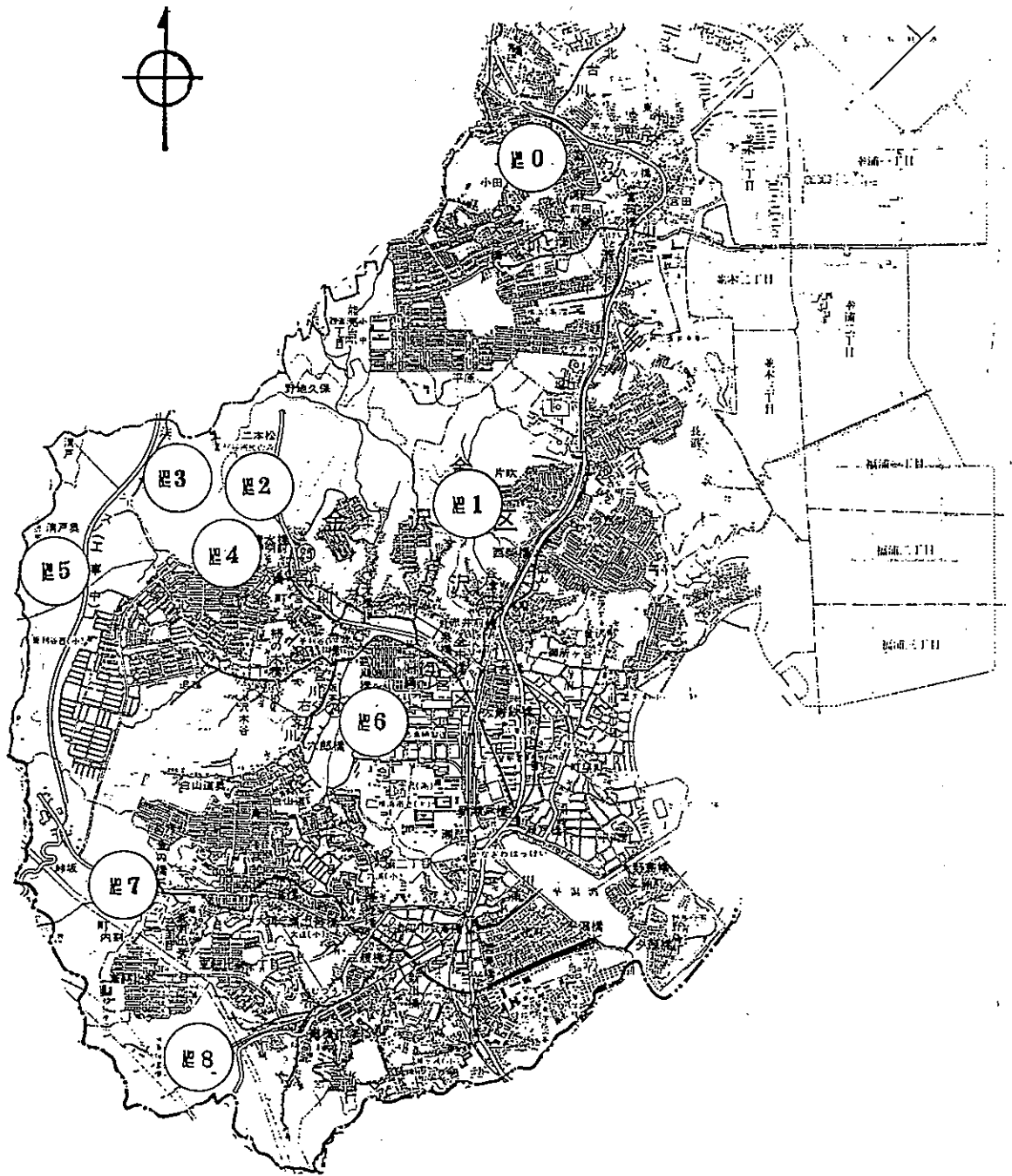
調査位置図

① 調査地点番号

磯子区

調査地点番号	所在 (目標物)	調査日		ゲンジボタル 生息数	調査日		ヘイケボタル 生息数	調査地の概要
		調査者名	調査者名		調査者名	調査者名		
磯子 - 1	磯子区岡村町 (岡村公園前)				83. 8. 27 公晋研究所			畑, 湧水不明
磯子 - 2	" 森二丁目 (R 1 6 脇)	83. 6. 8 水質課		15				切り立った岩盤より湧水が流れカワニナ多数生息している。横浜プリンスホテル旧ゴルフ場下斜面
磯子 - 3	" 森四丁目 (京急トンネル横)				83. 8. 27 公晋研究所			湧水点不明
磯子 - 4	" 杉田町 (根岸線横)				83. 9. 7 公晋研究所		50	ヒアリングによりヘイケボタル50頭の生息を確認した。溜池が2つ有り, 湿地が広い。環状3号予定地
磯子 - 5	" 峰町 (バイパス下)	83. 6. 13 水質課						河川改修済み
磯子-6-1	" 永取沢 (市民の森バイパス裏)	83. 6. 13 水質課		60				
磯子-6-2	" " (農業地区入口)	83. 6. 7 水質課		10				改修済みの笹下川にて確認





調査位置図

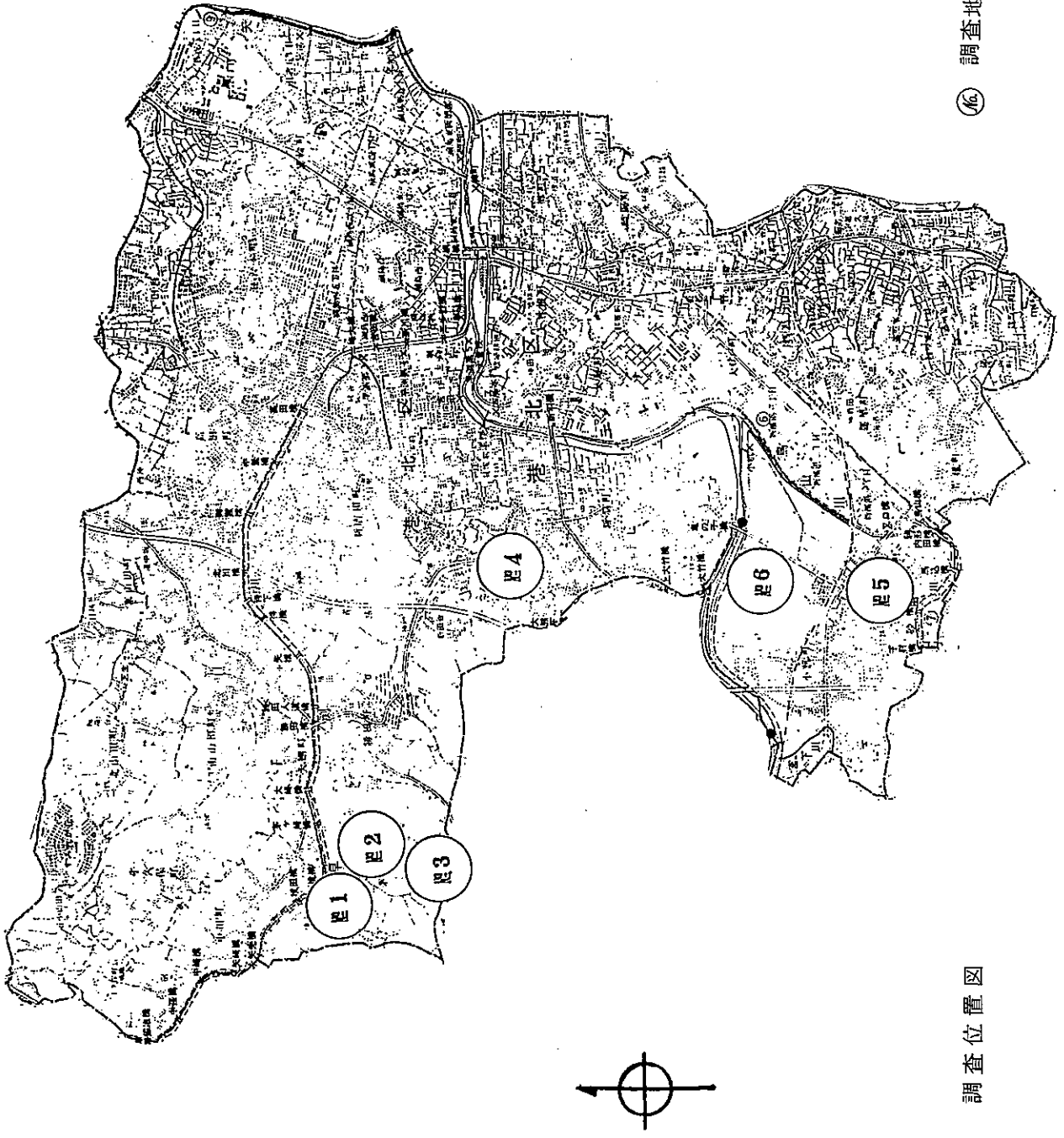
⊙ No. 調査地点番号

金 沢 区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
金沢 一 0	金沢区富岡町 ( 小 田 谷 戸 )	83. 6. 9 水 質 課	83. 6. 8 水 質 課		83. 8. 公害研究所			中学生にヒアリングしたところ昨年1頭つかまえたとの話
金沢 一 1	" 片吹町 ( 能見堂跡付近 )							欠 損
金沢 一 2	" 益利谷町 ( 市民の森入口バス停 )	83. 6. 8 水 質 課	83. 6. 8 水 質 課	1 0				農家の人は7月頃でないとホタルはではないと言っていた。
金沢 一 3	" " ( 益利谷市民の森北側 )	83. 6. 7 水 質 課	83. 6. 7 水 質 課	1 0 0				
金沢 一 4	" " ( 益利谷幼稚園北側 )	83. 6. 9 水 質 課	83. 6. 9 水 質 課	3 1	83. 8 水 質 課		生 息	ヒアリングによりヘイケボタルの生息を確認した。 子供がクワガタを取りに来ていた。
金沢一5-1	" " ( 金沢自然公園 )	83. 6. 8 水 質 課	83. 6. 8 水 質 課	3 0				底質は砂泥、苔は水路脇に有る。
金沢一5-2	" " ( " )	83. 6. 8 水 質 課	83. 6. 8 水 質 課	1 5				クロマドボタルの幼虫が徘徊していた。
金沢一5-3	" " ( " )	83. 6. 8 水 質 課	83. 6. 8 水 質 課	2 0				上流に池が有り、それからの水路上にホタルがいる
金沢一5-4	" " ( " )	83. 6. 8 水 質 課	83. 6. 8 水 質 課					道は路み跡程度、下草、低木、枯葉が谷戸をおおっ ている。
金沢一5-5	" " ( " )	83. 6. 5 水 質 課	83. 6. 5 水 質 課	5				確認時間 ( P M 8 . 3 0 ) が遅いため発光数が少いと 考えられる。
金沢一5-6	" " ( 沢 木 谷 )	83. 6. 7 水 質 課	83. 6. 7 水 質 課					谷戸は住宅造成により埋められている。
金沢一5-7	" " ( 追 越 )	83. 6. 7 水 質 課	83. 6. 7 水 質 課					サカマキガイ、ミズムシ多数確認。谷戸の先端は関 東学院大学のグラウンドになっている。
金沢一5-8	" " ( 金沢自然公園裏 )	83. 6. 9 水 質 課	83. 6. 9 水 質 課	2 5				P M 7 . 4 0 確認。

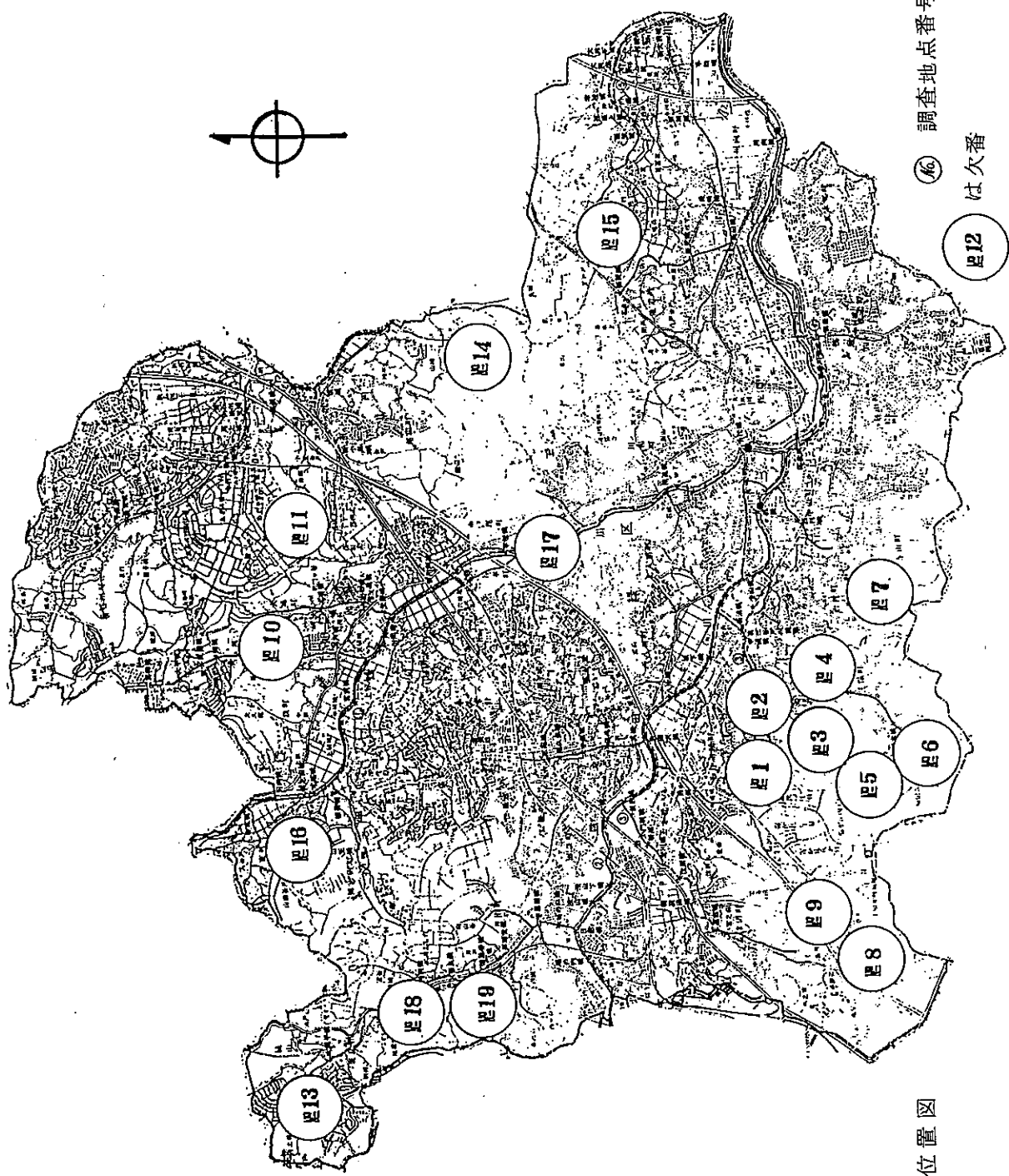
金 沢 区

調査地点番号	所 在 (目 標 物)	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名	
金沢一五—九	金沢区益利谷町 (益利谷西小学校付近)	83. 6. 9 水 質 課					
金沢一六	" (東洋デルミ—グランド墓)	83. 6. 公 書 研 究 所					河川改修済み、斜面は造成中
金沢一七—一	" 朝比奈町 (六浦原宿線北側)	83. 6. 9 水 質 課					農家の主婦の話によると7月頃下流でホテルを見るとのこと。
金沢一七—二	" ( " 南側)	83. 6. 9 水 質 課					コンクリート護岸
金沢一八	" 六浦町 (池子の弾薬庫南側)	83. 6. 7 水 質 課					カワニナ生息、京急逗子線南側。まわりの環境からホテルが出現しそうであったが、再調査しても発見できなかった



港 北 区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
港北 一 1	港北区茅ヶ崎町 ( 杉山神社付近 )	83. 6. 18 モルフオ 生物同好会	83. 8. 3 モルフオ生物 同好会	1	83. 8. 3 モルフオ生物 同好会	17	ヘイケは昨年28頭の明減が確認された。	
港北 一 2	" ( 正覚寺付近 )		83. 8. 3 モルフオ生物 同好会		83. 8. 3 モルフオ生物 同好会		昨年は自然の小水路で20頭余り観察されたが、今年には水 路が改修され、ヘイケボタルは全く見られない。	
港北 一 3	" ( 茅ヶ崎中学御手洗池付近 )				83. 8. 3 モルフオ生物 同好会		水路が改修されたため、カワニナ等は生息できるが、水生 ホタルは無理	
港北 一 4	" 新羽町 ( 光明寺付近 )				83. 8. 13 モルフオ生物 同好会	1,000	道路沿いの水田地帯で車の往来も多く、環境条件は余りよ くない。	
港北 一 5	" 小机町 ( 池谷戸 )				83. 8. 5 モルフオ生物 同好会		土地開発による環境変化が著しい。ホタルの生息は 不可能	
港北 一 6	" ( 新田 )				83. 8. 5 モルフオ生物 同好会		水田の取水は子机せきからの引水。	



調査地点番号

④ は欠番

調査位置図

緑 区

調査地点番号	所 在 (目標物)	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
緑 - 1	緑区新治町 (十日市場団地南側)	83. 6. 5 榎室出見榮	83. 8. 22 榎室出見榮	7 8	83. 8. 22 榎室出見榮	5 8		
緑 - 2	" "	83. 5. 24 榎室出見榮		8 6				
緑 - 3	" "	83. 6. 7 榎室出見榮	83. 8. 16 榎室出見榮	6 9	83. 8. 16 榎室出見榮	8		
緑 - 4	" 三保町 (三保坂下)	83. 6. 23 榎室出見榮		2 1				
緑 - 5	" " (埋木橋奥)	83. 6. 15 榎室出見榮	83. 8. 13 榎室出見榮	9	83. 8. 13 榎室出見榮	2 3		
緑 - 6	" " (三保市民の森)	83. 6. 11 榎室出見榮	83. 8. 13 榎室出見榮	1 7	83. 8. 13 榎室出見榮	2 9	梅田谷戸	
"	" " (市民の森横水田付近)	83. 6. 6 榎室出見榮		8			( 図中に表示せず )	
緑 - 7	" 台村町 (神大グラウンド西側)	83. 6. 8 榎室出見榮		9 0			ホテル狩りをしている人が居る。それを加えると100頭以上	
緑 - 8	" 長津田町	83. 6. 21 榎室出見榮		6				
緑 - 9	" " (岡部谷戸)	83. 6. 21 榎室出見榮	83. 8. 16 榎室出見榮	1	83. 8. 16 榎室出見榮	6 5		
緑 - 1 0	" 黒須田町	83. 6. 23 榎室出見榮	83. 8. 22 榎室出見榮	4	83. 8. 22 榎室出見榮	5	テニスコート横	
緑 - 1 1	" 荏田町 (赤 田)	83. 6. 7 榎室出見榮	83. 8. 23 榎室出見榮	5 7	83. 8. 23 榎室出見榮	1 0	「緑区自然保護懇話会」が別に調査・観察会を実施している。	
緑 - 1 3	" 奈良町 (本山池前水田)		83. 8. 23 榎室出見榮		83. 8. 23 榎室出見榮	1 0	ホテル見物らしい人がいる。	

緑 区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
緑-14	緑区荏田町 ( 渋 沢 )				83. 8. 20 榑堂山貞榮 榑堂研究會			
緑-15	" 東方町				83. 8. 20 榑堂山貞榮 榑堂研究會			
緑-16	" 寺家町				83. 8. 14 榑堂山貞榮 榑堂研究會	19		ピーク期をはずした可能性有。例年だと、市内におけるヘイケボタルの主要な発生地。 カワニナ生息
緑-17-1(102)	" 北入期町 ( 谷 本 川 )				83. 8. 10 緑区役所	40		ホタルを取っている児童数名
緑-17-1(103)	" " ( " )				83. 8. 10 緑区役所	30		
緑-17-1(101)	" " ( " )				83. 8. 10 緑区役所	41		昨日ホタルを50頭とった子供2人。
緑-17-1(104)	" " ( " )				83. 8. 10 緑区役所	20		
緑-17-1(105)	" " ( " )				83. 8. 10 緑区役所	3		ホタル狩りの人4人
緑-17-1(106)	" " ( " )				83. 8. 10 緑区役所	30		
緑-17-1(N-3)	" " ( " )				83. 8. 8 緑区役所	48		
緑-17-1(T-1)	" " ( " )				83. 8. 9 緑区役所	40		
緑-17-1(Y-2)	" " ( " )				83. 8. 9 緑区役所	30		
緑-17-1(N-2)	" " ( " )				83. 8. 8 緑区役所	40		



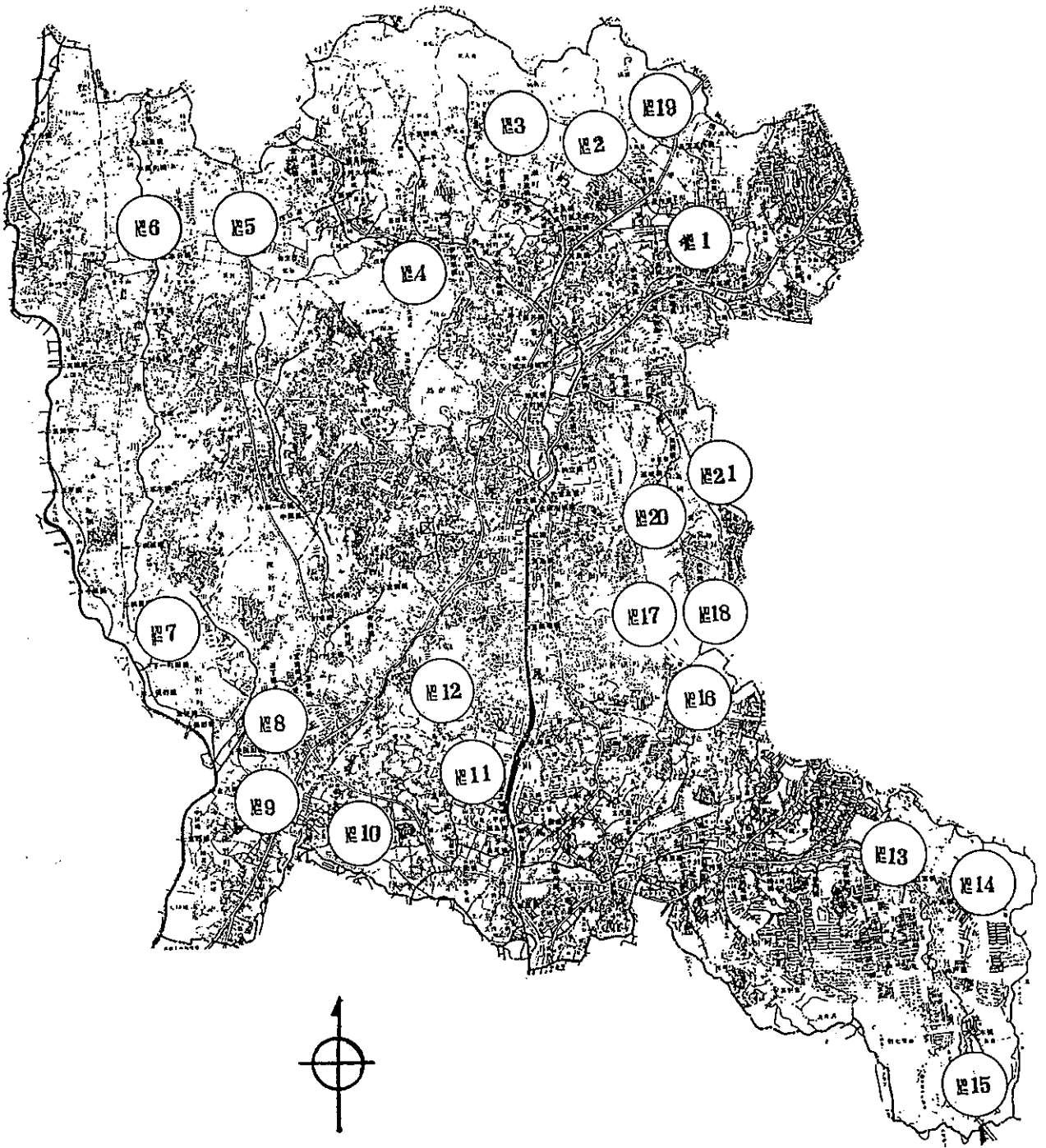
## 緑

## 区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 日		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
(Y-1)	緑区下谷本町 ( 谷 本 川 )				83. 8. 4	緑区役所	100	ヒメモノアラガイ生息
緑-17-1								
(Y-191)	" 川和町 ( " )				83. 8. 19	緑区役所		
緑-17-1								
(Y-192)	" " ( " )				83. 8. 19	緑区役所		
緑-17-1								
(W-1)	" 下谷本町 ( " )				83. 8. 4	緑区役所	2	
緑-17-1								
(N-1)	" " ( " )				83. 8. 4	緑区役所	2	
緑-17-2								
(Y-195)	" " ( " )				83. 8. 19	緑区役所		
緑-17-2								
(Y-193)	" " ( " )				83. 8. 19	緑区役所	2	
緑-17-2								
(Y-194)	" " ( " )				83. 8. 19	緑区役所		
緑-17-2								
(Y-185)	" 市ヶ尾町 ( " )				83. 8. 18	緑区役所		
緑-17-3								
(N-184)	" " ( " )				83. 8. 18	緑区役所		
緑-17-3								
(N-183)	" " ( " )				83. 8. 18	緑区役所		
緑-17-3								
(Y-181)	" " ( " )				83. 8. 18	緑区役所		
緑-17-3								
(W-182)	" " ( " )				83. 8. 18	緑区役所		
緑-17-3								

緑 区

調査地点番号	所 在 (目 標 物)	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 者 名		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 日	調 査 者 名		調 査 日	調 査 者 名		
緑 一 1 8	緑区奈良町 (長 谷 戸 下)				83. 8. 神奈川自然 保全研究会		1 0	
緑 一 1 9	" 恩田町 (鍛 冶 谷)				83. 8. 神奈川自然 保全研究会		1 0	



調査位置図

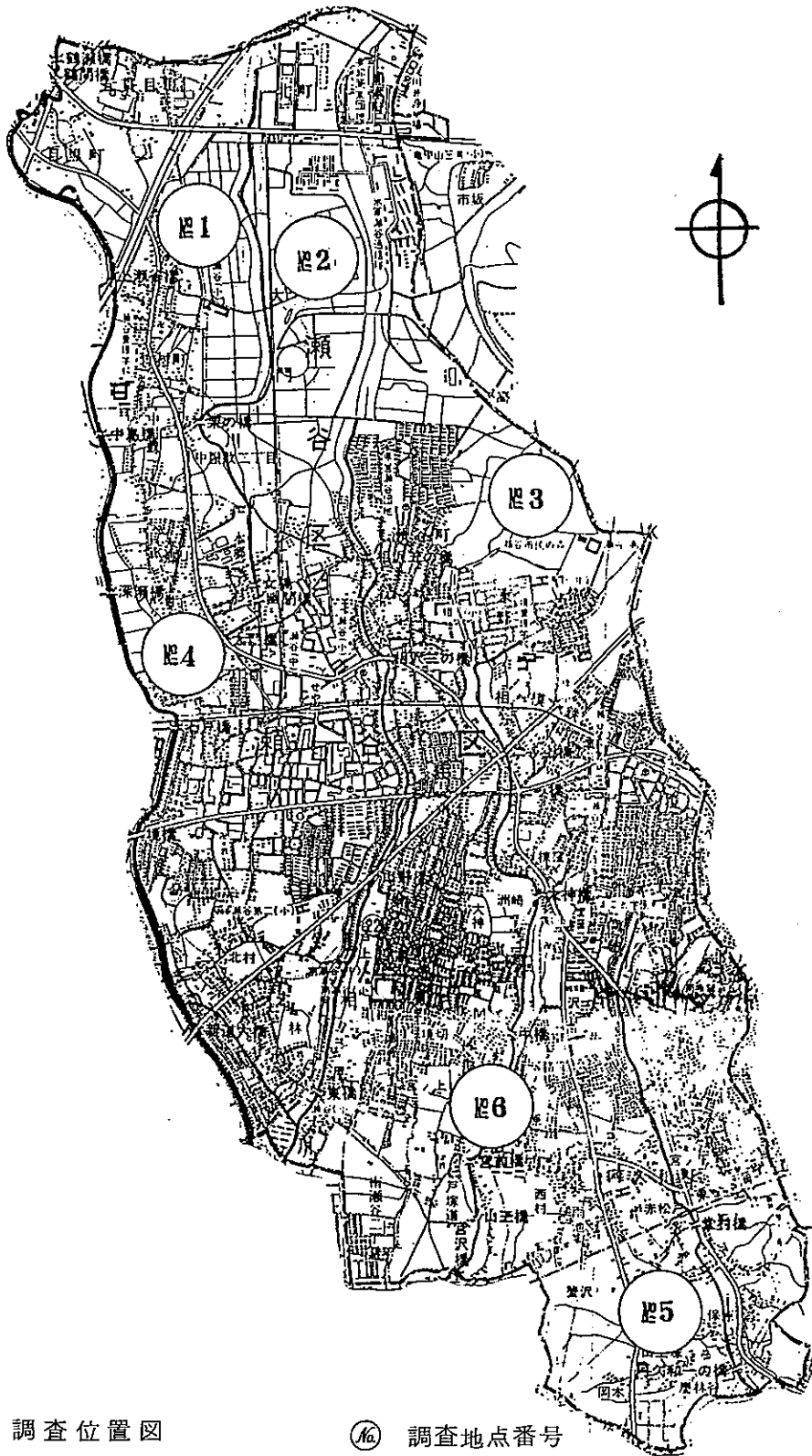
① 調査地点番号

戸塚区

調査地点番号	所 在 ( 目 標 物 )	調 査 日		ゲンジボタル 生 息 数	調 査 者 名		ヘイケボタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 日	調 査 者 名		調 査 日	調 査 者 名		
戸塚一 1	戸塚区平戸町 ( 平戸小学校付近 )	83. 6. 4 サークル・エル	83. 6. 15 サークル・エル		83. 6. 15 サークル・エル	15	6月中旬にヘイケが出るのはめずらしい。体長16~19mm	
戸塚一 1	" ( " )		83. 8. 15 サークル・エル		83. 8. 15 サークル・エル	15	環状2号線予定地 ( 図中に表示せず )	
戸塚一 2-1	" 川上町 ( 川上小学校付近 )	83. 6. サークル・エル	83. 8. 5 サークル・エル		83. 8. 5 サークル・エル		カワニナ多数生息	
戸塚一 2-2	" ( 戸塚カントリー 付近 )	83. 6. サークル・エル					環境は良いが、カワニナが見当たらない。	
戸塚一 3-1	" 名瀬町 ( 鷹ノ台団地付近 )	83. 6. サークル・エル	83. 8. 7 サークル・エル		83. 8. 7 サークル・エル	12	高圧線の下	
戸塚一 3-2	" "	83. 6. サークル・エル						
戸塚一 4-1	" 岡津町 ( 横浜南農協中川支所 )		83. 8. 3 サークル・エル		83. 8. 3 サークル・エル	49	田圃で耕作している人もホタルのいることを知っている。農薬も使っている。	
戸塚一 4-2	" ( 領家谷 付近 )		83. 8. 3 サークル・エル		83. 8. 3 サークル・エル	6	生息地の湿地は道路予定地となっている。	
戸塚一 5	" ( 彌生台駅付近 )	83. 6. 4 サークル・エル					田はつぶれ整地されかけている。	
戸塚一 6	" 和泉町 ( いずみの川 )				83. 8. 21 サークル・エル	7		
戸塚一 7	" 俣野町 ( 戸塚ホタル研究所 )	83. 6. 4 戸塚ホタル研究会		55			戸塚ホタル研究会の保護研究地区 シーズン中は数十人の見物人でにぎわう。	
戸塚一 8	" ( 俣野小学校付近 )	83. 6. 15 戸塚ホタル研究会		6			水量がかなり有り、一年中安定している。例年20 ~30頭。	
戸塚一 9	" 東俣野町 ( 龍 長 院 )	83. 6. 4 戸塚ホタル研究会		50			近在のホタル観賞地となっている。同時点滅が見られる。年によって発生数にバラつき有り。	

戸塚区

調査地点番号	所 在 (目 標 物)	調 査 日		ゲンジホタル 生 息 数	調 査 者 名		ヘイケホタル 生 息 数	調 査 地 の 概 要
		調 査 者 名	調 査 者 名		調 査 者 名	調 査 者 名		
戸塚-10	戸塚区小雀町 (小雀浄水場付近)				83. 7. 17 戸塚ホタル 研究会		600	休耕田から多数のホタルが発生している。見学者は 2~3人
戸塚-11	" 金井町(戸塚高校グラウンド付近)				83. 7. 16 戸塚ホタル 研究会		50	周囲の山から湧き出る水が有り、例年発生している。
戸塚-12	" " (玉泉寺付近)	83. 6. 19 戸塚ホタル 研究会		3	83. 7. 17 戸塚ホタル 研究会		50	山に周囲をかこまれており、家庭排水はまったく入 らない。
戸塚-13	" 上郷町 (山手英学院付近)				83. 6. 25 戸塚ホタル 研究会		200	周囲に民家はなく生息面積は広がらないが、密度はか なり高い。
戸塚-14	" " (瀬上の池の下)	83. 6. 18 戸塚ホタル 研究会		2	83. 6. 18 戸塚ホタル 研究会		3	数年前迄ゲンジがかかり発生した場所は埋立てられ 絶滅。
戸塚-15	" " (朝比奈団地裏)	83. 6. 11 戸塚ホタル 研究会		3				例年数十頭発生しているが、今回は確認時間が遅か ったPM10.00
戸塚-16	" 小菅谷 (舞岡谷戸の裏) (西谷上)	83. 6. 9 戸塚ホタル 研究会		15				ゴミ捨て場にされているが、湧水が有り毎年少数だ が生息する。
戸塚-17	" 舞岡町 (舞岡谷戸)	83. 6. 11 戸塚ホタル 研究会		120	83. 8. 13 戸塚ホタル 研究会		200	谷戸奥部公園予定地が中心(ゲンジ)。休耕田には あまり生息していない。主に田で発生している。
戸塚-18	" " (舞岡保育園上部)	83. 6. 13 公害研究所		50	83. 7. 23 戸塚ホタル 研究会			ピーク期は100頭を超えると推定される。元水田 で現在畑地。
戸塚-19	" 品濃町	83. 6. 14 戸塚ホタル 研究会						休耕田が有り、ヘイケが生息している可能性は有る。
戸塚-20	" 舞岡町 (舞岡神社付近)				83. 9. 7 公害研究所		50	ヒアリングによりヘイケホタル50余頭の生息を確 認した。
戸塚-21	" " (舞岡川穴下橋付近)				83. 9. 7 公害研究所			以前ホタルはいたが、舞岡地区の地下鉄工事により一時水が かかれてから見なくなつた。現在は工事が終り湧水は戻つた



調査位置図

① 調査地点番号

瀬谷区

調査地点番号	所在 (目標物)	調査日		ダンジボタル 生息数	調査日		ヘイケボタル 生息数	調査地の概要
		調査者名	調査者名		調査者名	調査者名		
瀬谷 1-1	瀬谷区瀬谷町 (海軍道路左側)				83. 8. 25 公害研究所			河川改修済み
瀬谷 1-2	" ( " 右側)				83. 8. 25 公害研究所		100	ピーク時期をはずした。台風5号の後、たぐさんホタルが出たとのこと。発生場所は農薬を使っていない水田。
瀬谷 3-1	" (瀬谷市民の森)	83. 6. 7 水質課						
瀬谷 3-2	" (あづま団地付近)	83. 6. 7 水質課		7				農家の人はホタルなど見たことないと言う。
瀬谷 3-3	" (あづまの幼稚園付近)	83. 6. 7 水質課		5				
瀬谷 4	" 本郷一丁目				83. 8. 30 公害研究所			農家の話によると、ホタルは全然見ない。この付近は水がきたなく田圃の水も遠く境川上部より引いている。改修済み。水は生活排水が入りきらない。さらに上部は団地造成中。
瀬谷 5-1	" 阿久和町 (理容ふくたみ奥)	83. 6. 9 水質課						10年前でもホタルはめずらしかったとの事。3年前に水路が堰塞になった。
瀬谷 5-2	" (善光谷子供プール付近)	83. 6. 9 水質課						ヒアリングによると水は地下水を田圃に入れている。2~3年前にはホタルを見た。
瀬谷 6-1	" 宮沢町 (遊水池 付近)				83. 8. 30 公害研究所			水量も多く環境は良い。カワニナも生息。昨年大池のホタルを放流したが今年は見られなかった。
瀬谷 6-2	" (小川宅裏の谷戸)				83. 8. 30 公害研究所			

---

---

横浜のホタル生息地 (1983年度版)

1984年3月

編集発行所 横浜市公害研究所

〒235 横浜市磯子区滝頭1-2-15  
電話 (045)752-2605

印刷所 株式会社国際マイクロフォト研究所  
(045)681-0719

---

---